

イットbuilder

アプリ作成ガイドブック

第 1.6 版 2022 年 7 月 1 日改訂

株式会社
中電シーティーアイ

■変更履歴

版数	変更日	変更内容
1.0	2016/11/1	初版発行
1.1	2017/8/1	データベース変更設定機能の追加 他システム連携機能の追加
1.2	2017/11/10	メッセージ表示画面の設定の説明を修正
1.3	2018/9/1	機能強化に伴う修正
1.4	2020/11/20	2020 年度バージョンアップに伴う修正
1.5	2022/4/20	2022 年度バージョンアップに伴う修正
1.6	2022/7/1	軽微な不備を修正

目次

1	はじめに	1
1.1	本書の位置付	1
1.2	アプリとは	1
1.3	アプリ部品とは	1
2	アプリ設定	2
2.1	アプリ一覧	2
2.1.1	操作方法	2
2.2	アプリの新規作成	4
2.2.1	Web アプリの新規作成	4
2.2.1.1	操作方法	4
2.2.1.2	項目説明	5
2.2.2	バッチアプリの新規作成	6
2.2.2.1	操作方法	6
2.2.2.2	項目説明	6
2.2.3	既存アプリのコピー	7
2.2.3.1	操作方法	7
2.2.3.2	項目説明	9
2.2.4	アプリパッケージのインストール	11
2.2.4.1	操作方法	11
2.2.4.2	項目説明	12
2.3	アプリパッケージの作成	13
2.3.1	操作方法	13
2.4	アプリのコピー	15
2.4.1	操作方法	15
2.5	アプリの検索	16
2.5.1	操作方法	16
2.6	アプリの変更（全般設定）	17
2.6.1	操作方法	17
(補足)	バッチの起動履歴	19
2.6.2	項目説明	20
2.6.2.1	Web アプリの場合	20

(補足) アプリ概要表示	22
(補足) ユーザーマスター変更設定	24
2.6.2.2 バッチアプリの場合	25
2.7 アプリの実行（起動）	26
2.7.1 操作方法	26
2.7.1.1 Web アプリの場合	26
2.7.1.2 バッチアプリの場合	27
(補足) バッチの即時起動	28
2.8 アプリの削除	29
2.8.1 操作方法	29
2.9 アプリ部品の追加	30
2.9.1 操作方法	30
2.9.2 項目説明	32
2.10 アプリ部品の絞込み	38
2.11 アプリ部品の設定	39
2.11.1 共通操作方法	39
(補足) データ項目選択	41
(補足) 項目設定	42
(補足) 項目の並び順変更	43
(補足) 項目の削除	44
2.11.2 項目説明	45
2.11.2.1 共通項目	45
2.11.2.2 ログイン画面の設定	46
2.11.2.3 Idp 認証連携	46
2.11.2.4 データ入力画面の設定	47
2.11.2.5 入力データ確認画面の設定	57
2.11.2.6 検索条件入力画面の設定	63
2.11.2.7 データ一覧表示画面の設定	77
2.11.2.8 データ詳細表示画面の設定	89
2.11.2.9 メッセージ表示画面の設定	97
2.11.2.10 ファイルアップロード画面の設定	98
2.11.2.11 条件分岐の設定	99
2.11.2.12 メール配信の設定	100
2.11.2.13 検索条件追加の設定	103

2.11.2.14	検索条件クリアの設定.....	113
2.11.2.15	入力データ設定の設定.....	114
2.11.2.16	入力データクリアの設定.....	123
2.11.2.17	入力データ登録の設定.....	124
2.11.2.18	メッセージ設定の設定.....	125
2.11.2.19	転送の設定.....	126
2.11.2.20	外部 API 実行の設定.....	127
2.11.2.21	データ一括登録の設定.....	131
2.11.2.22	データ一括更新の設定.....	133
2.11.2.23	データ一括削除の設定.....	135
2.11.2.24	データ一括出力の設定.....	136
2.11.2.25	ファイルダウンロードの設定.....	138
2.11.2.26	バッチアプリ実行の設定.....	141
2.11.2.27	帳票生成の設定.....	142
2.11.2.28	入力データ削除の設定.....	143
2.11.2.29	コメントの設定.....	144
(補足)	入力チェックの一覧.....	145
(補足)	初期値／検索値／値の一覧.....	146
(補足)	自動入力機能.....	148
(補足)	選択肢の内容.....	149
(補足)	分岐条件.....	150
(補足)	条件で絞り込む.....	153
(補足)	連動リスト.....	154
(補足)	連動リスト 上位選択肢の保存.....	154
(補足)	連動リストの制約.....	156
(補足)	編集・計算結果の設定.....	157
(補足)	関数一覧.....	158
(補足)	置換タグの挿入方法.....	159
2.12	アプリ部品の並順更新.....	161
2.12.1	操作方法.....	161
(補足)	アプリ部品の並順更新が可能な条件.....	161
2.13	アプリ部品のコピー.....	162
2.13.1	操作方法.....	162
2.13.1.1	項目説明.....	163

(補足) アプリ部品のコピーが可能な条件	163
(補足) コピーの範囲	163
(補足) アプリ部品のコピー機能を利用するにあたっての注意事項	163
2.14 アプリ部品の削除	164
2.14.1 操作方法	164
(補足) アプリ部品の削除が可能な条件	164
2.15 影響箇所の確認・一括修正	165
2.15.1 操作方法	165
(補足) 影響箇所の一括修正が可能な条件	166
2.16 アプリ部品のフロー設定	167
2.16.1 フローの変更	167
2.16.1.1 操作方法	167
2.16.1.2 項目説明	169
(補足) イベント一覧	170
(補足) イベントの編集	171
(補足) イベントの削除	172
2.16.2 全体フロー表示	173
2.16.2.1 操作方法	173
2.16.2.2 項目説明	174
2.17 デザイン	175
2.17.1 操作方法	175
(補足) システムコンテンツの編集	176
(補足) 入力必須項目の初期 HTML 表示	177
2.18 関連リンク	178
2.18.1 操作方法	178
(補足) データベース変更設定	179

1 はじめに

1.1 本書の位置付

想定読者：アプリ作成者

本書は、イット builder のアプリの作成方法について示す。

1.2 アプリとは

イット builder におけるアプリは、「Web アプリ」と「バッチアプリ」に分類される。アプリはアプリ部品によって構成される。

- Web アプリは、Web ブラウザから使用するアプリケーションを指し、URL アクセスで実行する。
- バッチアプリは、あらかじめ定めた処理を一度に行う際に使用するアプリケーションを指し、主にデータの一括処理（出力／登録など）を行う。あらかじめスケジューリングされたタイミング、または管理画面から即時起動することにより起動する。起動条件として、時刻起動、間隔起動が指定できる。

1.3 アプリ部品とは

イット builder におけるアプリ部品とは、アプリを実現するための基本機能を部品化したもので、「画面部品」と「処理実行部品」と「ファイル入出力部品」に分類される。

（アプリ部品の一覧は「2.9.2 項目説明」参照）

- 「画面部品」にはログイン認証画面、メニューなどを表示するためのメッセージ表示、データー一覧表示、データ詳細表示などがあり、画面をともなう部品である。
- 「処理実行部品」にはメール配信、条件分岐、データ登録などがあり、画面をともなわない部品である。
- 「ファイル入出力部品」にはファイル一括登録／削除などがあり、ファイルの入出力をともなう。

2 アプリ設定

2.1 アプリ一覧

2.1.1 操作方法

- ・メニューからアプリ設定の[一覧表示]をクリックする。



- ・アプリの一覧が表示される。

 アプリ一覧

削除

コピー

アプリパッケージ作成

新規作成

10 ☐ 件表示

	ID	アプリ名	状態	ネット公開	URL	最終更新日時	メモ
☐	7	 パッチアプリサンプル2	無効			2020/10/29 14:20:34	
☐	6	 webアプリサンプル2	停止	非公開	https://.../sample2	2020/10/29 14:21:32	
☐	5	 パッチアプリサンプル1	有効			2020/10/29 14:20:46	
☐	4	 webアプリサンプル1	稼働中	公開	https://.../sample1	2020/10/29 14:21:51	
☐	3	 薬票テスト	停止	公開	https://.../cti_test	2020/09/29 14:46:16	
☐	2	 血糖服薬測定値登録	停止	公開	https://.../glycemia	2020/09/29 14:45:44	
☐	1	 血圧体重測定値登録	停止	公開	https://.../vital	2020/09/29 14:45:44	

7 件中 1 から 7 まで表示

前 1 次

※[ネット公開]項目の表示有無は、環境によります。

- ・プルダウンで1ページあたりに表示する件数を指定する。

 アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10  件表示 

	ID	アプリ名	状態	ネット公開	URL	最終更新日時	メモ
☐	7					2020/10/29 14:20:34	
☐	6			非公開	https://.../sample2	2020/10/29 14:21:32	
☐	5	URL1	有効			2020/10/29 14:20:46	

プルダウンで1ページあたりに表示する件数を指定する。

- ・遷移先をクリックし、他のページに遷移する。

☐	4	Webアプリケーション1	稼働中	公開	https://.../sample1	2020/10/29 14:21:31	
☐	3	帳票テスト	停止	公開	https://.../cti_test	2020/10/29 14:21:32	
☐	2	血糖服薬測定値登録	停止	公開	https://.../glycemia	2020/10/29 14:21:33	
☐	1	血圧体重測定値登録	停止	公開	https://.../vital	2020/10/29 14:21:34	

7件中 1 から 7 まで表示

前 **1** 次

遷移先をクリックする。

2.2 アプリの新規作成

2.2.1 Web アプリの新規作成

2.2.1.1 操作方法

- ・ [新規作成]をクリックする。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 **新規作成**

10 件表示

ID	アプリ名
2	aaa
1	アプリ

- ・ [Web アプリの新規作成]を選び、[次へ]をクリックする。

アプリ新規作成

☒ Webアプリの新規作成
☐ バッチアプリの新規作成
☐ 既存アプリのコピー
☐ アプリパッケージのインストール

[次へ]をクリックする。

次へ キャンセル

- ・ 各項目を入力（選択）し、[作成]をクリックする。

Webアプリ新規作成

アプリ名 **必須** Webアプリサンプル1

URL **必須** https://test.it-builder.jp/app/group00044/ webappsample1 /

画面デザイン **必須** 標準PC

インターネットへの公開 **必須** ☐ 公開 ☒ 非公開

ユーザーマスター利用 **必須** ☒ する ☐ しない

2 従業員ユーザーマスター

[作成]をクリックする。

作成 戻る キャンセル

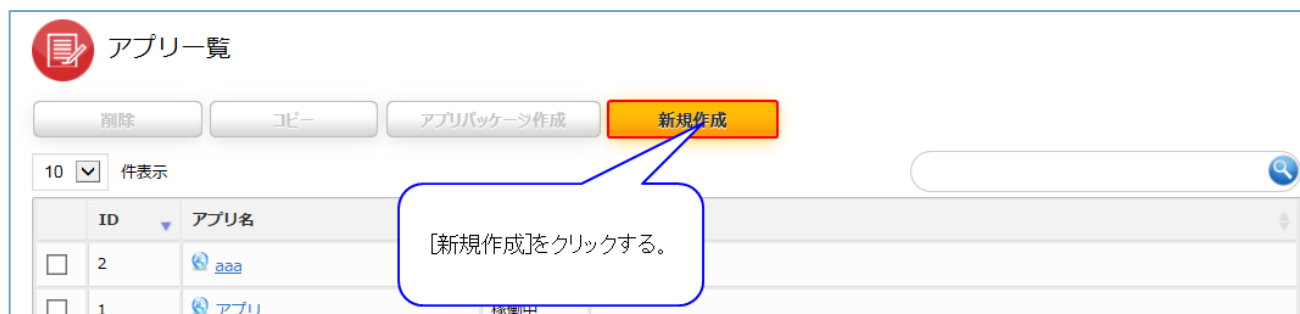
2.2.1.2 項目説明

項目名	説明
アプリ名	アプリの名称を設定する。
URL	アプリの実行 URL を設定する。
画面デザイン	テンプレートの画面デザインを設定する。 ● 標準 PC 標準的な PC 用のデザイン。 ● 標準スマホ 標準的なスマートフォン用のデザイン。
インターネットへの公開	アプリをインターネットに公開するかを設定できる。 (システム管理者が内部 IP アドレスを指定している場合、設定可能。「非公開」とした場合、指定した内部 IP アドレス上のみでアクセス可能。)
ユーザーマスター利用	アプリでユーザーマスターを利用するかを設定する。 (ログイン画面を利用する場合は、ユーザーマスターを「利用する」設定が必要。)

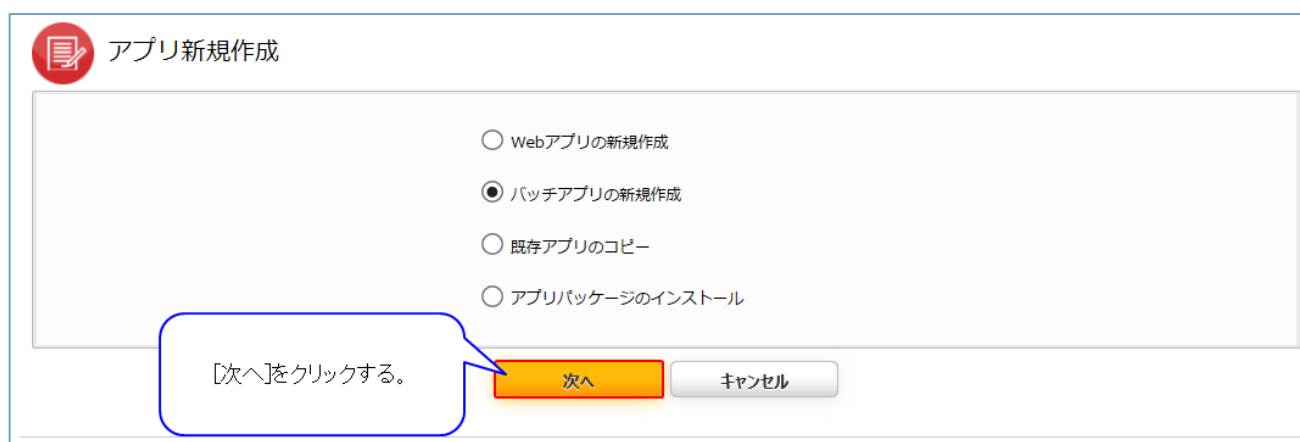
2.2.2 バッチアプリの新規作成

2.2.2.1 操作方法

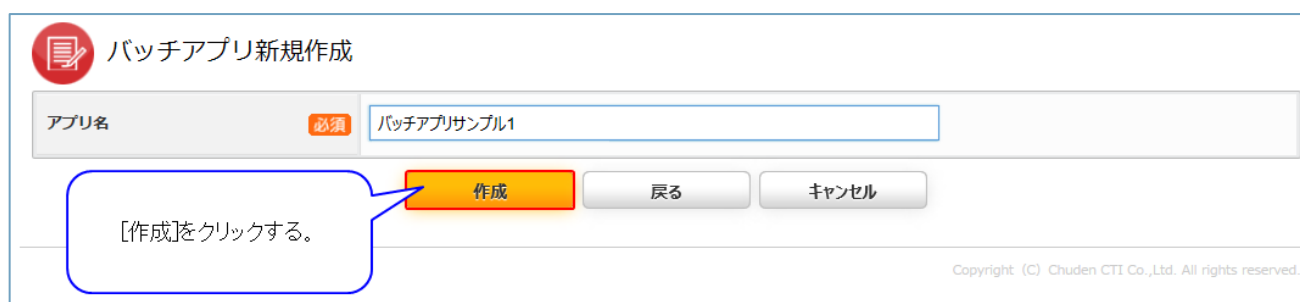
- ・ [新規作成]をクリックする。



- ・ [バッチアプリの新規作成]を選び、[次へ]をクリックする。



- ・ アプリ名を入力し、[作成]をクリックする。



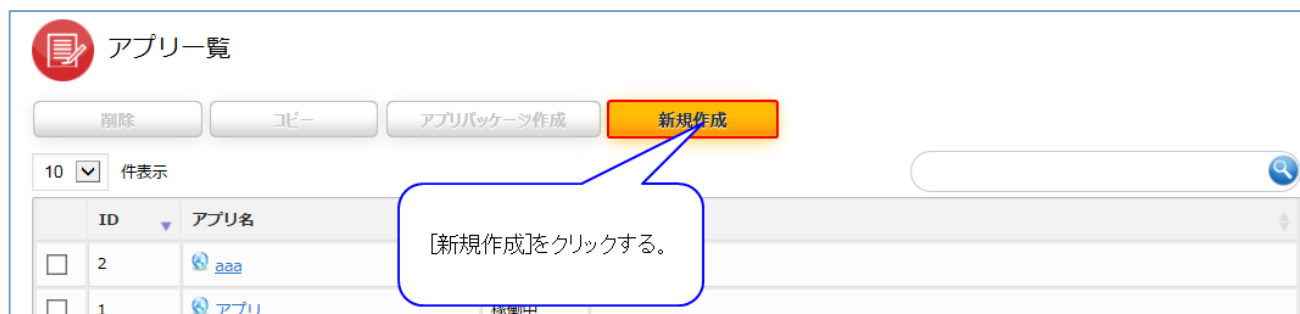
2.2.2.2 項目説明

項目名	説明
アプリ名	アプリの名称を設定する。

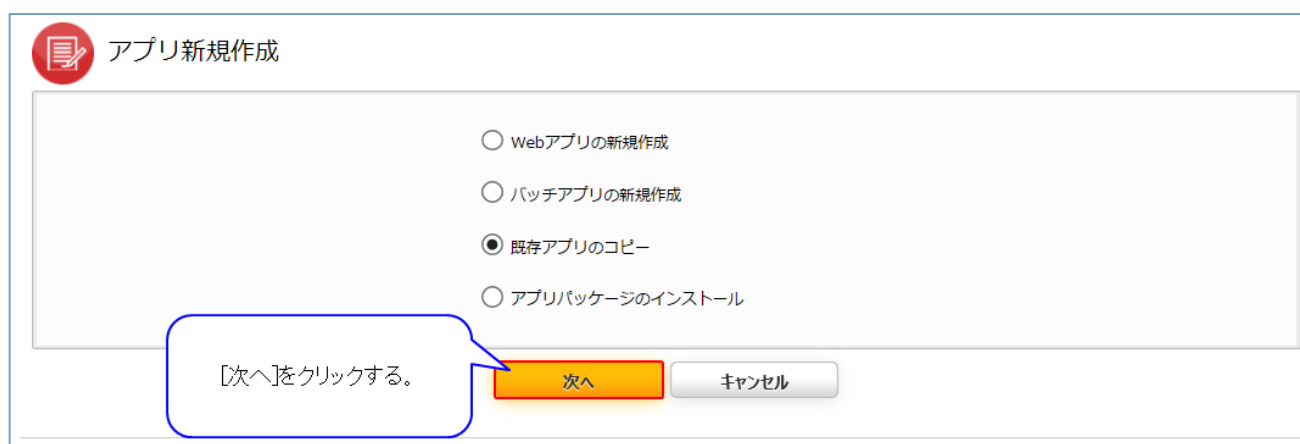
2.2.3 既存アプリのコピー

2.2.3.1 操作方法

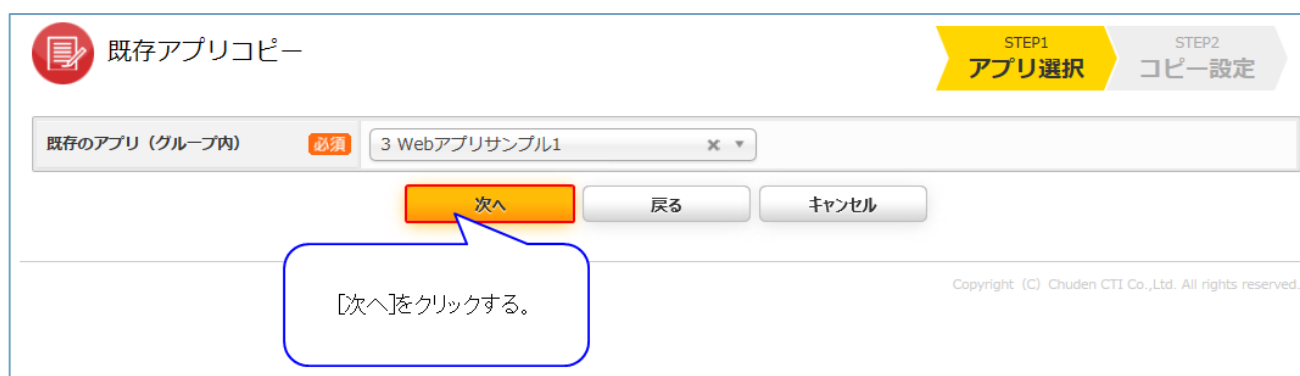
- ・ [新規作成]をクリックする。



- ・ [既存アプリのコピー]を選び、[次へ]をクリックする。



- ・ 既存アプリを選択し、[次へ]をクリックする。



- ・各項目を入力（選択）し、[作成]をクリックする。

 既存アプリコピー

STEP1
アプリ選択

STEP2
コピー設定

アプリ名	必須	コピーWebアプリサンプル1
URL	必須	https://test.it-builder.jp/app/group00044/ copywebsample1 /
ユーザーマスター (2 従業員ユーザーマスター)		☒ 新規作成 ☐ 既存利用 コピー従業員ユーザーマスター ☒ データを含む

データベース
(1 sampledб(test))

☒ 新規作成 ☐ 既存利用

[作成]をクリックする。

作成 戻る キャンセル

2.2.3.2 項目説明

2.2.3.2-1Web アプリの場合

項目名	説明
アプリ名	アプリの名称を設定する。
URL	アプリの実行 URL を設定する。
ユーザーマスター	既存アプリのユーザーマスターを利用するかを設定する。 ● 新規作成 ユーザーマスターを新規作成して利用する。 ● 既存利用 既存アプリと同じユーザーマスターを利用する。
データベース	既存アプリのデータベースを利用するかを設定する。 ● 新規作成 データベースを新規作成して利用する。 ● 既存利用 既存アプリと同じデータベースを利用する。

2.2.3.2-2バッチアプリの場合

項目名	説明
アプリ名	アプリの名称を設定する。
起動条件	バッチの起動条件（cron）を設定する。 （1分毎に起動といった高負荷につながる設定は避ける。） <書き方> 左から、[分] [時] [日] [月] [曜日] の順に記載する。 ● 分は0～59の数字で指定 「10 ****」と入力すると「毎時10分に実行」となる。 ● 時は0～23の数字で指定 「10 22 ***」と入力すると「毎日22時10分に実行」となる。 ● 日は1～31の数字で指定 「10 22 1 **」と入力すると「毎月1日の22時10分に実行」となる。 ● 月は1～12の数字で指定 「10 22 1 1 *」と入力すると「1月1日の22時10分に実行」となる。 ● 曜日は数字で指定し、0が日曜日で1以降は順に月、火、水、木、金、土となる。 「10 22 1 * 6」と入力すると「毎月1日と毎週土日の22時10分に実行」となる。 ※（補足）cron とは Linuxなどで使用される利用者の指定したスケジュールに従って指定されたプログラムを定期的に起動してくれるものである。
データベース	既存アプリのデータベースを利用するかを設定する。 ● 新規作成 データベースを新規作成して利用する。 ● 既存利用 既存アプリと同じデータベースを利用する。

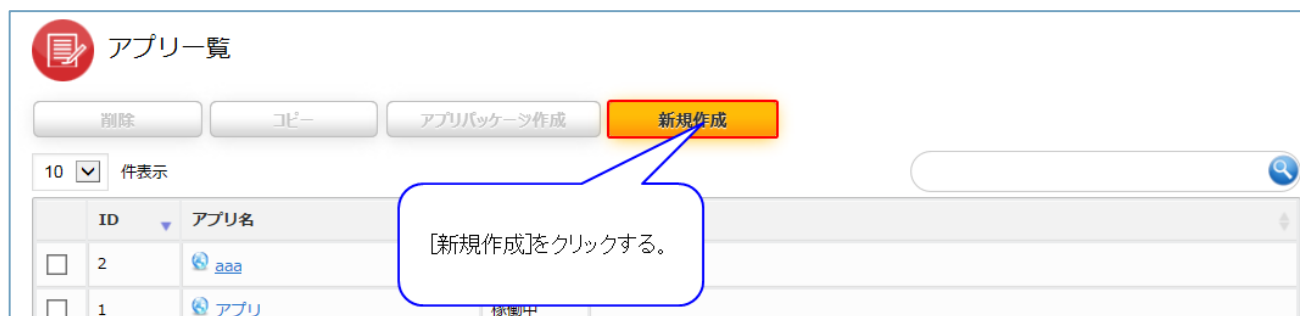
2.2.4 アプリパッケージのインストール

アプリパッケージとは、複数のアプリをパッケージ化したもの。アプリだけでなく、アプリで利用しているデータベースおよびユーザーマスターも含めてパッケージ化される。

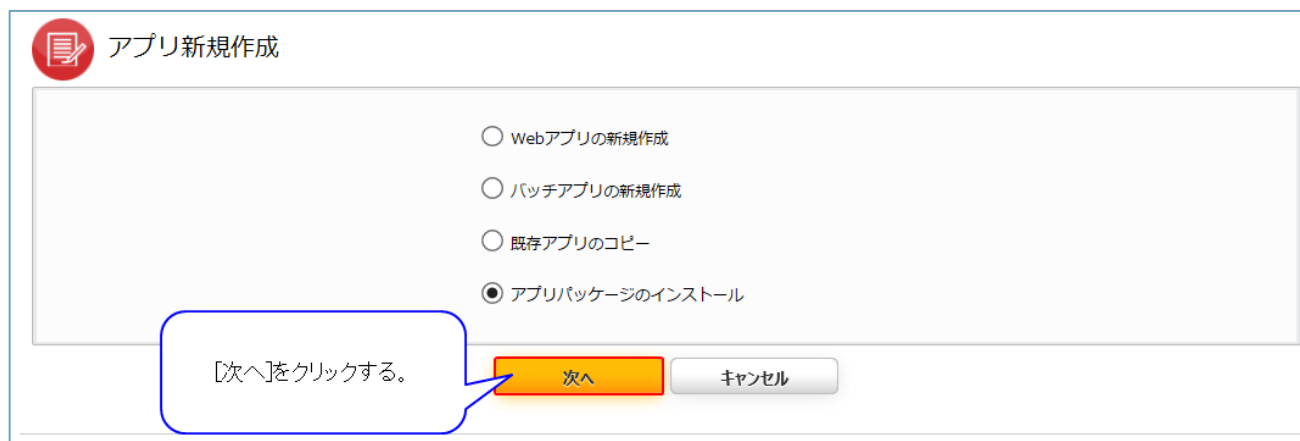
(アプリパッケージの作成については「2.3 アプリパッケージの作成」参照)

2.2.4.1 操作方法

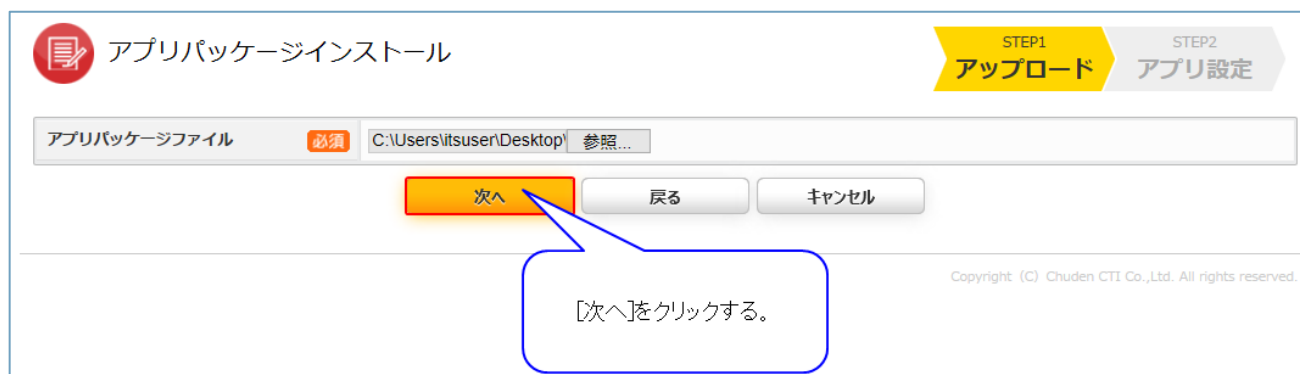
- ・ [新規作成]をクリックする。



- ・ [アプリパッケージのインストール]を選び、[次へ]をクリックする。



- ・ アプリパッケージファイルを参照し、[作成]をクリックする。



- ・各項目を入力（選択）し、[作成]をクリックする。

アプリパッケージインストール

STEP1 アップロード STEP2 アプリ設定

アプリ

Webアプリサンプル1

バッチアプリサンプル1

ユーザーマスター

従業員ユーザーマスター

テスト ☒ データを含む

データベース名

sampledb(test)

[作成]をクリックする。

作成 戻る キャンセル

2.2.4.2 項目説明

項目名	説明
アプリ	
アプリ名	アプリの名称を設定する。
URL／起動条件	● Web アプリの場合 アプリの実行 URL を設定する。 ● バッチアプリの場合 （「2.2.3.2-2 バッチアプリの場合」参照）
ユーザーマスター	
ユーザーマスター名	ユーザーマスターの名称を設定する。
データベース	
データベース名	データベースの名称を設定する。

※「バッチアプリ実行」部品を含むアプリパッケージをインストールした場合、インストール後に再度、起動するバッチアプリを設定する必要があります。

2.3 アプリパッケージの作成

2.3.1 操作方法

- ・パッケージ化したい項目のチェックボックスをクリックする。



アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
☐	4 バッチアプリサンプル1	無効	
☐	3	停止	
☐	2	停止	
☐	1	稼働中	

チェックボックスをクリックする。

- ・[アプリパッケージ作成]をクリックする。



アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
☒	4 バッチアプリサンプル1	無効	

[アプリパッケージ作成]をクリックする。

- ・[データを含む]のチェックボックスを選択し、[作成]をクリックする。



エクスポートの設定

ユーザーマスター

1 テストユーザ	☒ データを含む
----------	--

データベース

12 テスト	☒ データを含む
11 関連データ	☐ データを含む

[作成]をクリックする。

作成 キャンセル

- ・ダッシュボードに作成完了通知が表示される。

通知メッセージ
更新

2016/09/16 17:48:53
×

アプリパッケージの作成が完了しました。

結果	成功
アプリ	[3] Webアプリサンプル1 [4] パッチアプリサンプル1
処理開始日時	2016/09/16 17:48
処理終了日時	2016/09/16 17:48

- ・パッケージされたファイルは[ファイル管理]の[データ]一覧からダウンロード可能。

ファイル一覧

Webコンテンツ
データ
ログ

利用容量: 29.243KB

data/
app_package

appPackage_20160916174851196_989.itbld
del160920_1.csv
koshin160920_1.csv
out160920_1.csv
toroku160920_1.csv

ダウンロード
削除
詳細情報

2.4 アプリのコピー

2.4.1 操作方法

- ・コピーするデータのチェックボックスをクリックする。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
☐	4 バッチアプリサンプル1	無効	
☐	3 Webアプリサンプル1	停止	
☐	2 Webアプリサンプル1	停止	
☐	1 Webアプリサンプル1	稼働中	

4 件中 1 から 4 まで表示 前 1 次

- ・[コピー]をクリックする。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
☒	4 バッチアプリサンプル1	無効	
☐	3 Webアプリサンプル1	停止	

- ・各項目を入力（選択）し、[作成]をクリックする。

既存アプリコピー

STEP1 アプリ選択 STEP2 コピー設定

アプリ名 必須 コピーWebアプリサンプル1

URL 必須 https://test.it-builder.jp/app/group00044/ copywebsample1 /

ユーザーマスター (2 従業員ユーザーマスター) 新規作成 既存利用 コピー従業員ユーザーマスター データを含む

データベース (1 sampledb(test)) 新規作成 コピー-sampledb

作成 戻る キャンセル

※項目説明は「2.2.3.2 項目説明」参照

2.5 アプリの検索

2.5.1 操作方法

- 検索内容を入力する。

The screenshot shows the 'アプリ一覧' (App List) interface. At the top, there are buttons for '削除' (Delete), 'コピー' (Copy), 'アプリパッケージ作成' (Create App Package), and '新規作成' (New Creation). Below these is a '10 件表示' (Show 10 items) dropdown. A search bar is highlighted with a red box and a blue callout bubble containing the text '検索内容を入力する。' (Enter search content). The search bar contains the text 'Web'. Below the search bar is a table with columns: ID, アプリ名 (App Name), 状態 (Status), and メモ (Memo). The table lists four applications: ID 4 (バッチアプリサンプル1, 無効), ID 3 (Webアプリサンプル1, 停止), ID 2 (aaa, 停止), and ID 1 (アプリ, 稼働中). At the bottom, it says '4 件中 1 から 4 まで表示' (Showing 1 to 4 of 4 items) and '前 1 次' (Previous 1 Next).

ID	アプリ名	状態	メモ
4	バッチアプリサンプル1	無効	
3	Webアプリサンプル1	停止	
2	aaa	停止	
1	アプリ	稼働中	

- 検索結果が表示される。

The screenshot shows the 'アプリ一覧' (App List) interface with the search bar containing 'Web'. A blue callout bubble points to the search bar with the text '検索結果が表示される。' (Search results are displayed). The table now only shows one application: ID 3 (Webアプリサンプル1, 停止). The bottom status bar says '1 件中 1 から 1 まで表示' (Showing 1 to 1 of 1 items).

ID	アプリ名	状態	メモ
3	Webアプリサンプル1	停止	

- [×]をクリックし、検索条件を破棄する。

The screenshot shows the 'アプリ一覧' (App List) interface with the search bar containing 'Web'. A blue callout bubble points to the '×' button next to the search bar with the text '[×]をクリックする。' (Click [×]). The table still shows one application: ID 3 (Webアプリサンプル1, 停止). The bottom status bar says '1 件中 1 から 1 まで表示 (全 7 件より抽出)' (Showing 1 to 1 of 1 items (extracted from all 7 items)).

ID	アプリ名	状態	メモ
3	Webアプリサンプル1	停止	

2.6 アプリの変更（全般設定）

2.6.1 操作方法

- ・アプリ名をクリックする。



アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

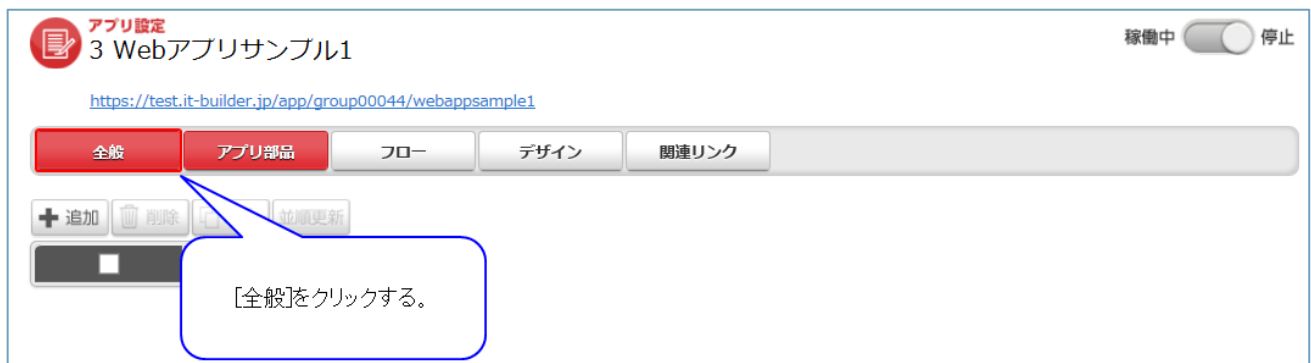
ID	アプリ名	状態	メモ
4	バッチアプリサンプル1	無効	
3	Webアプリサンプル1	停止	
2	aaa	停止	
1	アプリ		

4件中 1 から 4 まで表示

前 1 次

アプリ名をクリックする。

- ・[全般]をクリックする。



アプリ設定 3 Webアプリサンプル1 稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

+ 追加 削除 並順更新

[全般]をクリックする。

- ・各項目を入力（選択）し、[変更]をクリックする。

変更

[変更]をクリックする。

アプリ概要

基本設定

アプリ名	必須	Webアプリサンプル1	☒ アプリ名の変更をHTMLに自動反映する
URL	必須	https://dev2.it-builder.jp/app/guidebook/	manual
インターネットへの公開	必須	☐ 公開 ☒ 非公開	
ユーザーマスターの利用	必須	☐ する ☒ しない	
画面デザイン	必須	標準業務システ...	☐ 既存アプリ部品にデザインを反映する
稼働期間		2021/10/4 9:00 ~ 2022/12/31 23:59	(YYYY/MM/DD hh:mm)
詳細ログ出力	必須	☐ する ☒ しない	
メール配信の動作		☐ テストモードにする	
メモ			

管理情報

登録者	管理者
登録日時	2021/10/04 09:48:00
最終更新者	管理者
最終更新日時	2021/10/04 09:49:10

※Web アプリに限り、全般設定内の項目として、[稼働期間]の設定が可能となっている。

[全般]から[稼働期間]の設定をし、[変更]ボタンをクリックすることで、[デザイン]タブから、[稼働期間前]と[稼働期間後]に表示される画面のデザインを変更することが可能。

全般

アプリ部品

フロー

デザイン

関連リンク

変更

プレビュー

HTML初期化

画面

A001 データ一覧表示画面

データ一覧表示画面

A002 データ入力画面

データ入力画面

A003 入力データ確認画面

入力データ確認画面

A006 メッセージ表示画面

メッセージ表示画面

A007 データ入力画面

データ入力画面

A008 入力データ確認画面

入力データ確認画面

CLOSE 利用停止中

利用停止中

BEFORE 稼働期間前

稼働期間前

AFTER 稼働期間後

稼働期間後

ERROR アプリ実行エラー

アプリ実行エラー

```

1 <!DOCTYPE html><html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xmlns:th="http://www.thymeleaf
.org" th:with="vh = @{webAppRuntimeViewHelper}"><head>
2 <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
3 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0" />
4 <meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=edge,chrome=1" />
5 <meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css" />
6 <meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />
7 <script type="text/javascript">
8 history.pushState(null, null, null);
9 window.addEventListener("popstate", function() {
10 history.pushState(null, null, null);
11 });
12 </script>
13 <title th:id="title_nm" id="title_nm">Webアプリサンプル1</title>
14 <link rel="stylesheet" type="text/css" media="all" href="/app_web_design/default_pc/css
/import.css" />
15 </head>
16 <body>
17 <div id="wrapper">
18 <form th:action="@{${vh.getActionPath()}}" method="post">
19 <input type="hidden" th:if="${vh.tokenHas()}" th:name="${vh.tokenName()}" th:value="${vh
.tokenValue()}" />
20 <input type="hidden" th:name="${vh.getAsidName()}" th:value="${vh.getAsid()}" />
21 <input type="hidden" th:name="${vh.getAidName()}" th:value="${vh.getAid()}" />
22 <div id="header"><span></span></div>
23 <h1>稼働期間前画面</h1>
24 </div>
25 <div id="nav"></div>
26 <div id="article">

```


(補足) バッチの起動履歴

- ・ [起動履歴]をクリックする。

 アプリ設定

4 バッチアプリサンプル1

有効 ☐ 無効 ☐

全般

アプリ部品

フロー

関連リンク

変更

即時起動

基本設定

起動履歴

基本設定

[起動履歴]をクリックする。

- ・ 履歴の一覧が表示される。

 アプリ設定

4 バッチアプリサンプル1

有効 ☒ 無効 ☐

全般

アプリ部品

フロー

関連リンク

変更

即時起動

基本設定

起動履歴

更新

実行開始日時	実行終了日時	状態	詳細
2016/09/20 9:18:39		実行中 強制終了	09:18:39 バッチアプリ起動
2016/09/20 9:15:30	2016/09/20 9:15:33	実行終了	09:15:30 バッチアプリ起動 09:15:33 一括登録正常終了(入力チェックによりエラーとなったデータが存在しました) エラー詳細 09:15:33 バッチアプリ正常終了
2016/09/20 9:11:33	2016/09/20 9:11:34	実行終了	09:11:33 バッチアプリ起動 09:11:34 バッチアプリ正常終了
2016/09/20 9:07:43	2016/09/20 9:07:45	実行終了	09:07:43 バッチアプリ起動 09:07:45 バッチアプリ正常終了
2016/09/09 14:02:19		アプリ実行エラー	14:02:09 バッチアプリ起動 14:02:09 遷移先が設定されていません。

2.6.2 項目説明

2.6.2.1 Web アプリの場合

項目名	説明
基本設定	
	アプリ概要をポップアップ表示する。 背景の色とイメージはブラウザ側の印刷時のページ設定で出力可否の設定を行う。
アプリ名	アプリの名称を設定する。
URL	アプリの実行 URL を設定する。
インターネットへの公開	内部 IP アドレスを設定していた場合、アプリをインターネットに公開するかを設定できる。 （「非公開」とした場合、指定した内部 IP アドレス上のみでアクセス可能。）
ユーザーマスター利用	アプリでユーザーマスターを利用するかを設定する。 （[選択]で利用するユーザーマスターを選択する。詳細は「(補足) ユーザーマスター変更設定」参照）
画面デザイン	テンプレートの画面デザインを設定する。 ● 標準 PC 標準的な PC 用のデザイン。 ● 標準スマホ 標準的なスマートフォン用のデザイン。 ● 標準業務アンケート（PC・スマホ共用） 標準的なアンケート用のデザイン ● 標準業務システム（PC・スマホ共用） 標準業務用のデザイン
稼働期間	アプリの稼働期間を設定する。稼働期間（開始）、稼働期間（終了）を設定でき、片方のみ設定も可能。稼働期間を設定している場合、それぞれ以下の挙動となる。 稼働期間（開始）より前の日時のアクセス：稼働期間前画面を表示 稼働期間（終了）より後の日時のアクセス：稼働期間後画面を表示 稼働期間（開始）～稼働期間（終了）の間の日時のアクセス：フロー設定に従う
詳細ログ出力	詳細ログを出力するかを設定する。 （出力先は「イット builder 基本操作ガイドライン」-「6 ファイル管理」参照）
メール配信の動作	メール配信をテストモードにするかを設定する。 （テストモードに設定した場合、指定の配信先ではなく、動作確認用として指定したメールアドレスに配信する。）
メモ	備忘録として使用する。
管理情報	
登録者	登録したアプリ設定者。
登録日時	登録した日時。
最終更新者	最後に更新したアプリ設定者。（システムで自動更新）

項目名	説明
最終更新日時	最後に更新した日時。（システムで自動更新）

(補足) アプリ概要表示


アプリ設定
11 sample3

稼働中 ☐ 停止

<https://dev.it-builder.jp/app/eisui/appsample>

全般

アプリ部品

フロー

デザイン

関連リンク

変更

アプリ概要

基本設定

「アプリ概要」をクリックする。

- ・ アプリ概要を表示する。

アプリ概要 - Internet Explorer

https://dev.it-builder.jp/app_manager/eisui/app/popup/general/254

アプリ概要

印刷

グループ名	14 営業推進部	
アプリ名	11 sample3	
アプリURL	https://dev.it-builder.jp/app/eisui/appsample	
利用ユーザーマスター一覧	1 共通ユーザマスタ	
利用データベース一覧	20 sample1	
メモ	アプリの概要が表示されます。	

アプリ部品	メモ	
	利用データベース・利用ユーザーマスター	
	イベント・分岐条件	次のアプリ部品
Webアプリ起動	開始	A001 ログイン画面
A001 ログイン画面 ログイン画面	ログイン判定画面が表示されます。	
	ログイン ボタン:(ログイン)	A002 データ一覧表示画面
A002 データ一覧表示画面 データ一覧表示画面	一覧画面が表示されます。	
	20 sample1	
	登録 ボタン:(ボタン)	A005 入力データ確認画面
	ログアウト ボタン:(ログアウト)	A001 ログイン画面
A005 入力データ確認画面 入力データ確認画面	新規登録画面が表示されます。	
	20 sample1	
	戻る ボタン:(ボタン)	A002 データ一覧表示画面
	登録 ボタン:(データ登録)	A006 入力データ確認画面

項目説明

項目名	説明
アプリ部品	アプリ部品の名称。
メモ	アプリ部品の簡易メモを設定する。
利用データベース・利用ユーザーマスター	アプリ部品が利用しているデータベース・ユーザーマスター。
イベント・分岐条件	イベント名または分岐条件名。
次のアプリ部品	イベントまたは分岐条件によって遷移する次のアプリ部品名。

(補足) ユーザーマスター変更設定

ユーザーマスター変更設定

利用ユーザーマスター

1 社員

アプリ部品で利用されている以下のユーザー属性を、変更後のユーザー属性に置き換えてください。

変更前(2 db)	変更後(1 社員)
U003 メールアドレス	U003 メールアドレス

☐ 変更前に参照していたユーザーマスターを削除する。

設定

キャンセル

項目名	説明
基本設定	
利用ユーザーマスター	ユーザーマスターを選択する。
変更前	アプリ部品で利用されている、変更前のユーザーマスターのユーザー属性。
変更後	アプリ部品で利用されているユーザー属性を、変更後のユーザーマスターのどのユーザー属性に置き換えるかを設定する。
☐ 変更前に参照していたユーザーマスターを削除する。	チェックを入れると、変更前に参照していたユーザーマスターを削除する。

2.6.2.2 バッチアプリの場合

項目名	説明
基本設定	
アプリ名	(「2.6.2.1 Web アプリの場合」参照)
起動条件	(「2.2.3.2-2 バッチアプリの場合」参照)
メモ	(「2.6.2.1 Web アプリの場合」参照)
詳細ログ出力	(「2.6.2.1 Web アプリの場合」参照)
メール配信の動作	(「2.6.2.1 Web アプリの場合」参照)
管理情報	
登録者	(「2.6.2.1 Web アプリの場合」参照)
登録日時	(「2.6.2.1 Web アプリの場合」参照)
最終更新者	(「2.6.2.1 Web アプリの場合」参照)
最終更新日時	(「2.6.2.1 Web アプリの場合」参照)
起動履歴	
実行開始日時	バッチの実行が開始された日時。
実行終了日時	バッチの実行が終了された日時。
状態	バッチの実行状態。
詳細	バッチの詳細情報。

2.7 アプリの実行（起動）

2.7.1 操作方法

2.7.1.1 Web アプリの場合

- ・アプリ名をクリックする。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
4	バッチアプリサンプル1	無効	
3	Webアプリサンプル1	停止	
2	aaa	停止	
1	アプリ		

4 件中 1 から 4 まで表示

前 1 次

Copyright (C) Cyndex CTI Co., Ltd. All rights reserved.

- ・画面右上の[○]をクリックし、「稼働中」の状態にする。

アプリ設定

3 Webアプリサンプル1

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

稼働中 停止

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

+ 追加 削除 コピー 並順更新

- ・URL をクリックする。

アプリ設定

3 Webアプリサンプル1

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

稼働中 停止

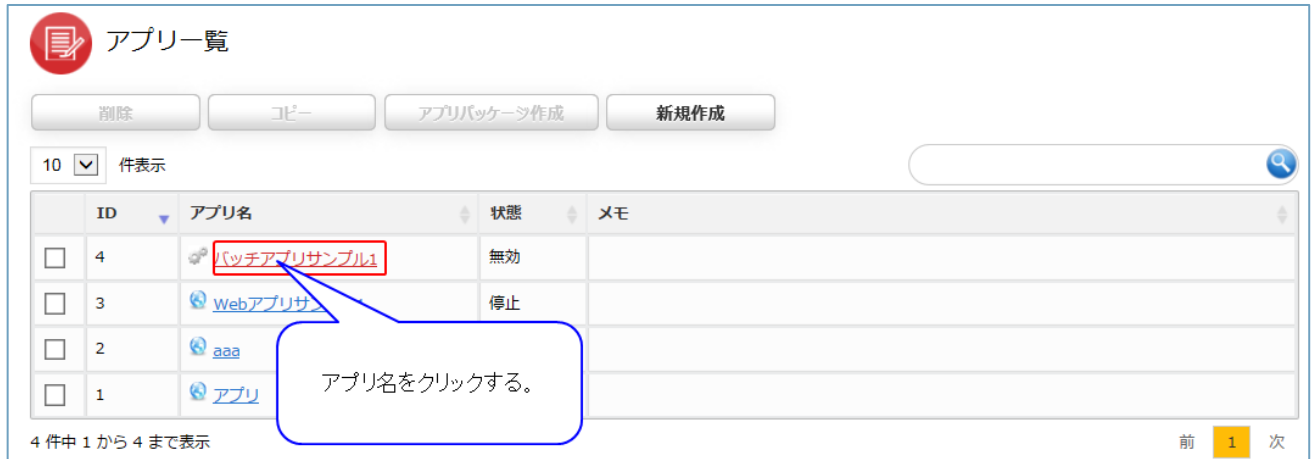
全般 アプリ部品 フロー デザイン

+ 追加 削除 コピー 並順更新 変更

※Web アプリは「稼働中」の場合のみ、実行可能。

2.7.1.2 バッチアプリの場合

- ・起動条件を設定する。
(「2.6.2.2 バッチアプリの場合」参照)
- ・アプリ名をクリックする。



アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
4	バッチアプリサンプル1	無効	
3	Webアプリサンプル	停止	
2	aaa		
1	アプリ		

4件中 1 から 4 まで表示 前 1 次

- ・画面右上の[○]をクリックし、「有効」の状態にする。



アプリ設定 4 バッチアプリサンプル1

有効 無効

全般 アプリ部品 フロー 関連リンク

変更 即時起動

クリックする。

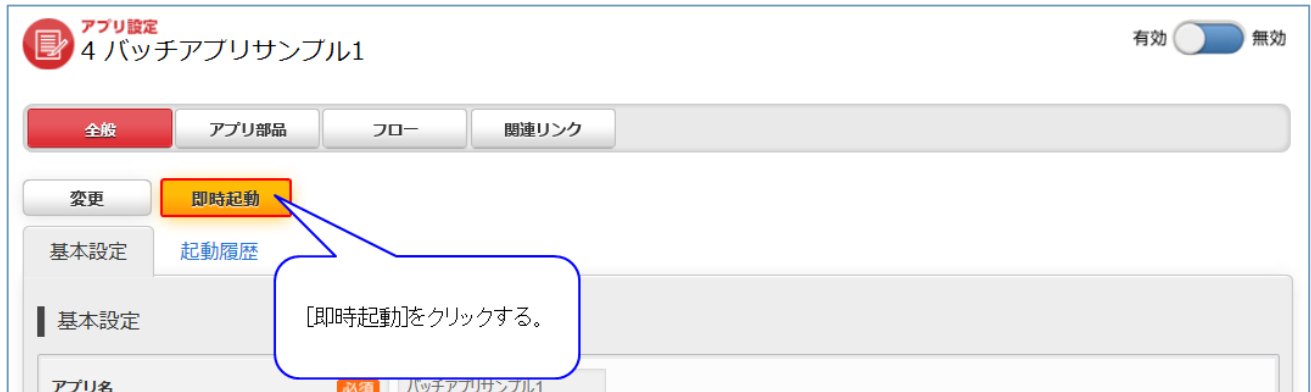
※バッチは「有効」の場合のみ、起動可能。

(補足) バッチの即時起動

- ・ バッチアプリの[全般]をクリックする。

(「2.6.1 操作方法」参照)

- ・ [即時起動]をクリックする。



2.8 アプリの削除

2.8.1 操作方法

- ・ 削除するデータのチェックボックスをクリックする。



アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
☐ 4	バッチアプリサンプル1	無効	
☐ 3		停止	
☐ 2		停止	
☐ 1		稼働中	

- ・ [削除]をクリックする。



アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	状態	メモ
☐ 4	無効	
☐ 3	停止	Webアプリサンプル1

※注意：アプリに属するすべての部品も同時に削除されます。

2.9 アプリ部品の追加

2.9.1 操作方法

- ・アプリ名をクリックする。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
4	バッチアプリサンプル1	無効	
3	Webアプリサンプル1	停止	
2	aaa	停止	
1	アプリ		

4件中 1 から 4 まで表示

前 1 次

Copyright (C) Chuden CTI Co., Ltd. All rights reserved.

- ・[追加]をクリックする。

アプリ設定 稼働中 停止

3 Webアプリサンプル1

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

+ 追加

[追加]をクリックする。

- ・追加する[部品]をクリックする。

アプリ部品追加

画面部品

ログイン画面 データ入力画面 入力データ確認画面 検索条件入力画面 データ一覧表示画面 データ詳細表示画面

メッセージ表示画面 ファイルアップロード画面

処理実行部品

条件分岐 メール配信 検索条件追加 検索条件クリア 入力データ設定 入力データクリア

入力データ登録 入力データ削除 メッセージ設定 転送 外部API実行 バッチアプリ実行

帳票生成

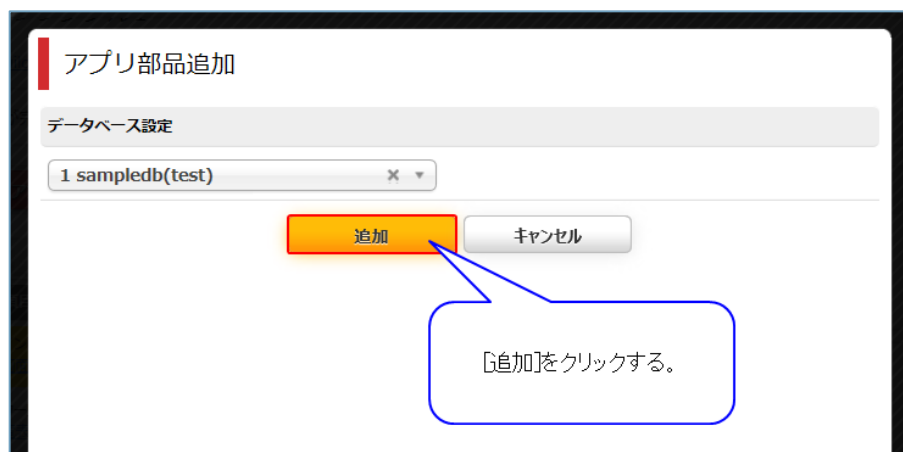
コメント

コメント

キャンセル

[部品]をクリックする。

・データベース/ユーザーマスター設定が表示された場合は、プルダウンでデータベースを選び[追加]をクリックする。



2.9.2 項目説明

部品名	Web アプリ	バッチアプリ	説明
画面部品			
ログイン画面	○ (※1)	×	ログイン認証する画面。
データ入力画面	○	×	指定したデータベースの項目にデータを入力する画面。
入力データ確認画面	○	×	入力したデータを確認する画面。
検索条件入力画面	○	×	指定したデータベースの項目について検索条件を設定し、データを絞り込む画面。
データ一覧表示画面	○	×	指定したデータベース項目を一覧表示する画面。
データ詳細表示画面	○	×	特定のデータの詳細を表示する画面。
メッセージ表示画面	○	×	静的な画面を表示する。
処理実行部品			
IdP 認証連携	○ (※2)	×	外部 ID プロバイダによる認証画面に転送する。
条件分岐	○	○	条件によってアプリ部品の呼び出し順序を分岐する。
メール配信	○	○	指定した宛先にメールを配信する。
検索条件追加	○	○	指定したデータベース項目について検索条件を設定し、データを絞り込む。
検索条件クリア	○	○	事前に設定された検索条件をクリアする。
入力データ設定	○	○	指定したデータベース項目のデータを入力する。
入力データクリア	○	○	事前に設定された入力値をクリアする。
入力データ登録	○	○	データをデータベースに登録する。
メッセージ設定	○	○	次部品に表示／ログに出力するメッセージを設定する。
転送	○	×	指定した URL に転送する。
外部 API 実行	○	○	指定した他システムの API を実行する。
バッチアプリ実行	○	×	Web アプリからバッチアプリを実行する。
帳票生成	○	○	指定した帳票を生成できる。
ファイル入出力部品			
データ一括登録	×	○	CSV ファイルのデータを一括で登録する。
データ一括更新	×	○	CSV ファイルのデータを一括で更新する。
データ一括削除	×	○	CSV ファイルのデータを一括で削除する。
データ一括出力	×	○	CSV ファイルのデータを一括で出力する。
ファイルダウンロード	×	○	HTTP または FTP で指定のファイルをダウンロードする。
コメント			
コメント	○	○	コメント行を表示する。

※1 「ユーザーマスター利用」が「する」で、利用するユーザーマスターの認証方式が「標準認証」または「LDAP 認証」の場合に設定可能。

※2 「ユーザーマスター利用」が「する」で、利用するユーザーマスターの認証方式「IdP 認証連携」の場合に設定可能。

ユーザー画面

画面部品毎に自動生成される標準画面の例を示す。

！ ユーザー画面では、ブラウザの戻るボタン等をクリックすると誤動作します。イット builder で生成されるボタン、リンクのみをクリックして操作してください。

・ログイン画面

ログイン画面

イットbuilder

ログインIDとパスワードを入力してください。

ログインID

パスワード

ログイン

[ログインIDをお忘れの方はこちら](#)
[パスワードをお忘れの方/変更したい方はこちら](#)

Powered by イットbuilder

※ログイン ID は大文字／小文字を区別して認証する。

※[ログイン]を連打するとエラーとなるので注意。

※ログイン ID をお忘れの方は「イット builder 基本操作ガイドライン」の「（補足）ログイン ID をお忘れの方」、パスワードをお忘れの方／変更したい方は「イット builder 基本操作ガイドライン」の「（補足）パスワードをお忘れの方」参照（ただし、メールアドレス未設定等の場合、再設定不可となるため管理者へのお問い合わせが必要。）

・データ入力画面

データ入力画面



数値	
テキスト（1行）	
択一選択	☐ はい ☐ いいえ
メールアドレス	

次へ

戻る

Powerd by  イットbuilder

・入力データ確認画面

入力データ確認画面



数値	2
テキスト（1行）	text
択一選択	はい
メールアドレス	sample@mail.com

登録

戻る

Powerd by  イットbuilder

・ 検索条件入力画面

検索条件入力画面



検索条件を入力し、検索ボタンを押してください。

数値	 ~
テキスト（1行）	
択一選択	☐ はい ☐ いいえ
メールアドレス	

検索

戻る

Powered by  イットbuilder

・ データ一覧表示画面

データ一覧表示画面



ログアウト

1件中 1 から 1 まで表示

先頭

前

1

次

最終

数値	テキスト（1行）	択一選択	メールアドレス
1	山田太郎		yamada@sample.com

先頭

前

1

次

最終

新規登録

検索

メッセージ

Powered by  イットbuilder

※一覧のすべてのタイトル項目において、クリックすると昇順／降順でソートができる。

- データ詳細表示画面

データ詳細表示画面



数値	2
テキスト (1行)	text
択一選択	はい
メールアドレス	sample@mail.com

戻る

Powerd by  イットbuilder

- メッセージ表示画面

メッセージ表示画面



任意のメッセージ

戻る

Powerd by  イットbuilder

2.10 アプリ部品の絞込み

利用しているアプリ部品を絞込みで検索することが出来る。

※絞込み条件に表示されるアプリ部品は、対象のアプリで使用しているアプリ部品のみ表示される。

(データベースやユーザーマスターも同様)

The screenshot shows the 'アプリ部品' (Application Component) selection screen. At the top, there are tabs for '全般' (General) and 'アプリ部品' (Application Component). Below the tabs are buttons for '+ 追加' (Add), '削除' (Delete), 'コピー' (Copy), and '並順更新' (Sort/Update). The main list shows various application components with checkboxes. A red box highlights the '絞り込み' (Filter) icon in the top right of the list. A callout bubble points to it with the text '1. クリックする' (Click).

Below the list, a dialog box titled 'アプリ部品絞込み条件設定' (Application Component Filter Condition Setting) is shown. It contains two sections: 'アプリ部品種別' (Application Component Type) and '検索対象' (Search Target). The 'アプリ部品種別' section has a checkbox for '全選択' (Select All) and a '必須' (Required) label. The '検索対象' section has a '必須' (Required) label and three radio buttons: '指定なし' (None), 'データベース' (Database), and 'ユーザーマスター' (User Master). To the right, there are two columns of checkboxes: '<画面部品>' (Screen Component) with options for 'データ入力画面' (Data Entry Screen), '入力データ確認画面' (Input Data Confirmation Screen), 'データ一覧表示画面' (Data List Display Screen), and 'メッセージ表示画面' (Message Display Screen); and '<処理実行部品>' (Processing Execution Component) with options for '条件分岐' (Conditional Branch) and 'メール配信' (Email Distribution). A red box highlights the '絞り込み' (Filter) button at the bottom right of the dialog. A callout bubble points to it with the text '2. 絞込みの設定をする' (Set the filter).

Below the dialog, there are two buttons: '絞り込み' (Filter) and '閉じる' (Close). A red box highlights the '絞り込み' button. A callout bubble points to it with the text '3. クリックする' (Click).

条件を設定し、[絞り込み]をクリックすることで下図のように表示される。

※画像はデータ入力画面のみに絞込み設定

The screenshot shows the 'アプリ部品' (Application Component) selection screen after the filter has been applied. The list now only shows components related to the 'データ入力画面' (Data Entry Screen). The '絞り込み' (Filter) icon is still visible in the top right of the list.

絞込みをクリアしたい場合は、絞り込みアイコンの右に表示されているアイコンをクリックする。

The screenshot shows the 'アプリ部品' (Application Component) selection screen after the filter has been applied. A red box highlights the '絞り込み' (Filter) icon in the top right of the list. A callout bubble points to it with the text 'クリックする' (Click).

2.11 アプリ部品の設定

2.11.1 共通操作方法

- ・ アプリ名をクリックする。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
4	バッチアプリサンプル1	無効	
3	Webアプリサンプル1	停止	
2	aaa	停止	
1	アプリ		

4件中 1 から 4 まで表示

前 1 次

Copyright (C) Chuden CTE Co. Ltd. All rights reserved.

- ・ アプリ部品をクリックする。

アプリ設定

3 Webアプリサンプル1

稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsampl1>

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

+ 追加 削除 コピー 並順更新 変更

アプリ部品	機能設定	表示項目
A001 ログイン画面 ログイン画面		A003
A005 データ一覧表示画面 データ一覧表示画面		入力データ確認画面
A002 データ入力画面 データ入力画面		入力データ確認画面
A003 入力データ確認画面 入力データ確認画面		☒ アプリ部品名の変更をHTMLに自動反映する

アプリ部品名 必須

データベース 1 sampledb(test)

☒ 強調する ☐ 強調しない

- ・タブをクリックする。



アプリ設定 3 Webアプリサンプル1 稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

+ 追加 削除 コピー 並順更新 変更

アプリ部品
☐ A001 ログイン画面 ログイン画面
☐ A005 データ一覧表示画面 データ一覧表示画面
☐ A002 データ入力画面 データ入力画面

機能設定 表示項目

アプリ部品ID A001

アプリ部品種別

アプリ部品名 必須

☒ アプリ部品名の変更をHTMLに自動反映する

タブをクリックする。

- ・各項目を入力（選択）し、[変更]をクリックする。



アプリ設定 3 Webアプリサンプル1 稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

+ 追加 削除 コピー 並順更新 変更

アプリ部品
☐ A001 ログイン画面 ログイン画面
☐ A005 データ一覧表示画面 データ一覧表示画面

機能設定 表示項目

追加

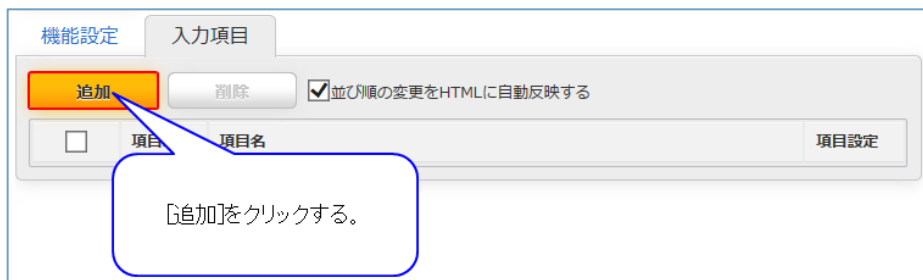
☐ 項目

項目設定

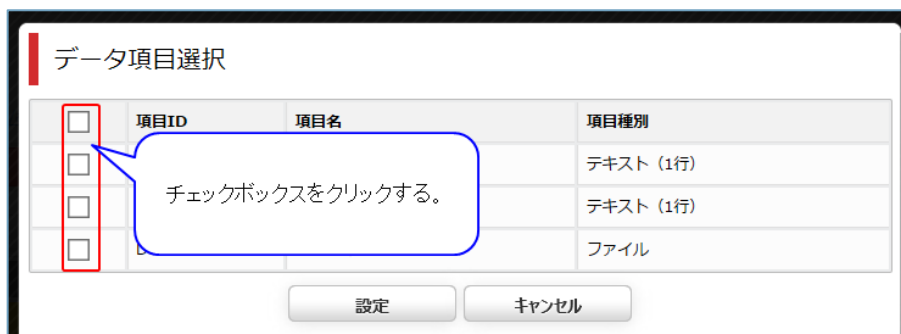
[変更]をクリックする。

(補足) データ項目選択

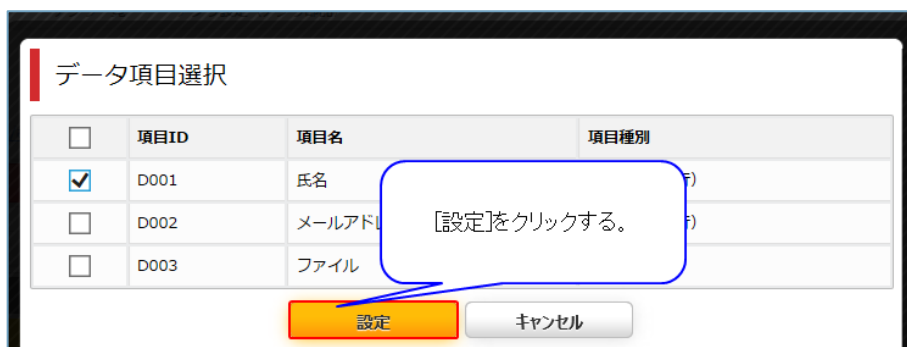
- ・ [追加]をクリックする。



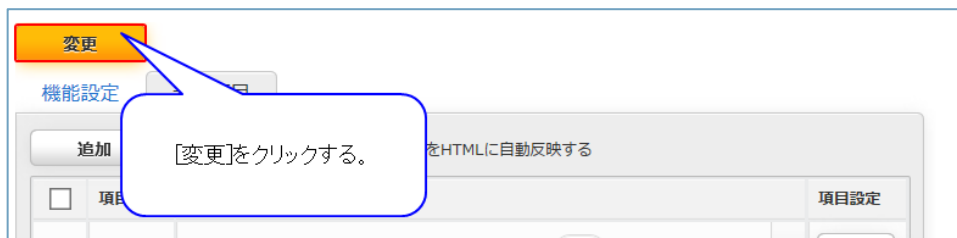
- ・ 追加する項目のチェックボックスをクリックする。



- ・ [設定]をクリックする。

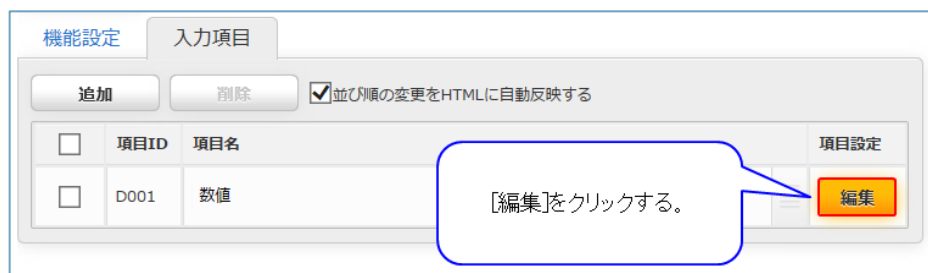


- ・ [変更]をクリックする。



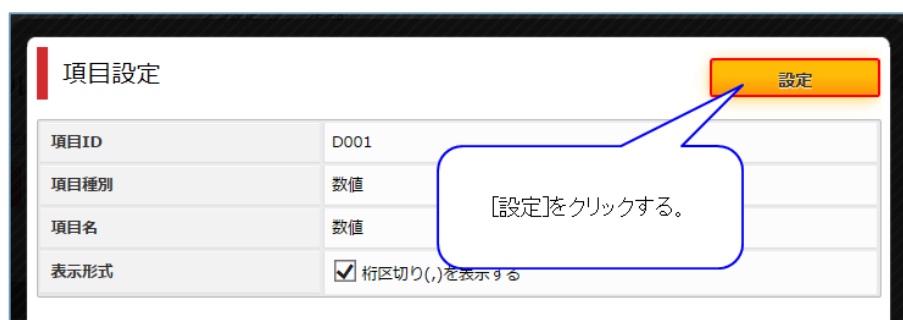
(補足) 項目設定

- ・項目設定欄の[編集]をクリックする。



項目ID	項目名
D001	数値

各項目を入力（選択）し、[設定]をクリックする。



項目ID	D001
項目種別	数値
項目名	数値
表示形式	☒ 桁区切り(,)を表示する

- ・モーダルウィンドが消えた後、[変更]をクリックする。



アプリ部品
A001 ログイン画面
A005 データ一覧表示画面

※ [設定]で一時保存状態となり、[変更]で完全に設定内容を変更することができる。

(補足) 項目の並び順変更

- ・ 順序変更を行う項目をドラッグする。

変更

機能設定 入力項目

追加 削除 ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する

☐	項目ID	項目名	任意	テキスト (1行)	項目設定
☐	D003	社員番号	任意	テキスト (1行)	編集
☐	D001	部署名	任意	テキスト (1行)	編集
☐	D004	氏名	任意	テキスト (1行)	編集

- ・ 項目の順序が変更される。

機能設定 入力項目

追加 削除 ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する

☐	項目ID	項目名	任意	テキスト (1行)	項目設定
☐	D001	部署名	任意	テキスト (1行)	編集
☐	D003	社員番号	任意	テキスト (1行)	編集
☐	D004	氏名	任意	テキスト (1行)	編集

- ・ [変更]をクリックする。

変更

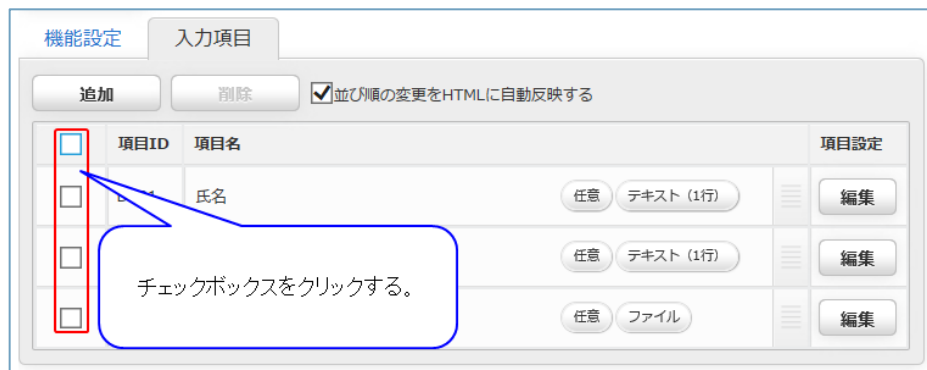
機能設定 入力項目

追加 削除 ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する

☐	項目ID	項目名	任意	テキスト (1行)	項目設定
☐	D001	部署名	任意	テキスト (1行)	編集
☐	D003	社員番号	任意	テキスト (1行)	編集
☐	D004	氏名	任意	テキスト (1行)	編集

(補足) 項目の削除

- ・ 削除する項目のチェックボックスをクリックする。



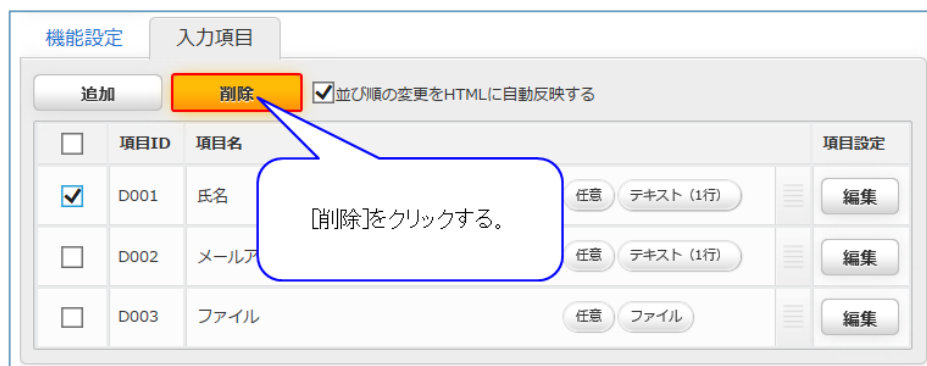
機能設定 入力項目

追加 削除 ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する

	項目ID	項目名		項目設定
☐		氏名	任意 テキスト (1行)	編集
☐			任意 テキスト (1行)	編集
☐			任意 ファイル	編集

チェックボックスをクリックする。

- ・ [削除]をクリックする。



機能設定 入力項目

追加 **削除** ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する

	項目ID	項目名		項目設定
☒	D001	氏名	任意 テキスト (1行)	編集
☐	D002	メールアドレス	任意 テキスト (1行)	編集
☐	D003	ファイル	任意 ファイル	編集

[削除]をクリックする。

2.11.2項目説明

2.11.2.1 共通項目

項目名	変更可否	説明
機能設定		
アプリ部品 ID	不可	各項目を識別するための値。（イット builder が自動設定）
アプリ部品種別	不可	アプリ部品の種別。
アプリ部品名	可	部品の名称。 （「アプリ部品名の変更を HTML に自動反映する」は画面部品の「機能設定」タブで表示され、チェックを入れると、アプリ部品名の変更内容が自動で HTML に反映される。）
メモ	可	部品のメモ。

2.11.2.2 ログイン画面の設定

機能設定	
アプリ部品ID	A016
アプリ部品種別	ログイン画面
アプリ部品名 必須	ログイン画面 ☒ アプリ部品名の変更をHTMLに自動反映する
メモ	

※ログイン画面は「ユーザーマスターの利用」が「する」と選択している必要があり、選択されたユーザーマスターのログイン認証が「標準機能」、「LDAP 連携」のどちらかが選択されている場合にのみ使用可能。

項目名	変更可否	説明
機能設定		
設定内容は「2.11.2.1 共通項目」のみ		

2.11.2.3 Idp 認証連携

機能設定	
アプリ部品ID	A001
アプリ部品種別	IdP認証連携
アプリ部品名 必須	IdP認証連携
メモ	

※Idp 認証連携は「ユーザーマスターの利用」が「する」と選択している必要があり、選択されたユーザーマスターのログイン認証が「Idp 連携」となっている場合のみ使用可能。

項目名	変更可否	説明
機能設定		
設定内容は「2.11.2.1 共通項目」のみ		

2.11.2.4 データ入力画面の設定

機能設定 入力項目

アプリ部品ID	A001
アプリ部品種別	データ入力画面
アプリ部品名	必須 データ入力画面 ☒ アプリ部品名の変更をHTMLに自動反映する
データベース	595_sampledb(test)
データ操作	必須 ☒ 新規データを扱う ☐ 更新データを扱う
メモ	

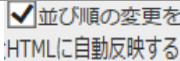
機能設定 入力項目

追加

削除

☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する

☐	項目ID	項目名		項目設定
☐	D001	数値	数値 任意	編集
☐	D002	テキスト (1行)	テキスト (1行) 任意	編集
☐	D003	択一選択	択一選択 任意	編集
☐	D005	メールアドレス	テキスト (1行) 任意	編集

項目名／ボタン	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	入力対象としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
データ操作	可	入力データの操作方法を設定する。 ● 新規データを扱う 入力データを新規データとして扱う。 ● 更新データを扱う 入力データを更新データとして扱う。 (更新データを扱う場合は、「データー一覧表示」または「検索条件追加」により、更新データが特定されている必要がある。)
入力項目		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 (追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照)
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
	可	並び順を変更した際、HTML に自動で反映させるかを設定する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別、必須／任意。 (右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照)
項目設定	可	画面に表示する項目について設定する。 ([編集]をクリックし項目の編集をする。編集の詳細については、2.11.2.4-1～2.11.2.4-7 参照)

2.11.2.4-1 データ入力画面＞入力項目＞項目設定＞テキスト（1行）の場合

項目設定

設定

項目ID	D005
項目種別	テキスト（1行）
項目名	テキスト（1行）
表示形式	☒ テキストボックス ☐ ラベル ☐ 隠し項目 ＜詳細設定＞ ☐ 入力不可にする ☒ ツールチップを表示する 表示するメッセージ
初期値	指定なし
入力チェック	必須チェック ☒ 必須 ☐ する ☒ しない 再入力チェック ☒ 必須 ☐ する ☒ しない
自動入力機能	この項目の入力値をキーに指定されたデータベースを検索します。 取得した結果は他項目にセットすることができます。 自動入力機能の利用 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目種別	不可	項目のデータ種別。
項目名	不可	項目の名称。
表示形式	可	入力項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● テキストボックス テキストボックスをユーザーが値を入力できる形式で表示する。 ● ラベル テキストボックスを表示せず、ユーザーは値を入力できない。 （初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。） ● 隠し項目 画面上には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として入力値を保存する。 ＜詳細設定＞ ● 入力不可にする テキストボックスをユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● ツールチップを表示する カーソルを当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。
初期値	可	入力項目に初期値としてセットする値を設定する。 （初期値として設定できる値の詳細は「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照）
入力チェック	可	データの入力時に行うチェック仕様を設定する。 （入力チェックの詳細は「(補足) 入力チェックの一覧」参照）
自動入力機能	可	入力値をキーに指定されたデータベースを検索する。取得した結果は他項目にセットすることができる。 （自動入力機能の詳細は「(補足) 自動入力機能」参照）

2.11.2.4-2 データ入力画面＞入力項目＞項目設定＞テキスト（複数行）の場合

項目設定

設定

項目ID

D006

項目種別

テキスト（複数行）

項目名

テキスト（複数行）

表示形式

☒ テキストエリア
☐ ラベル
☐ 隠し項目
 <詳細設定>
☐ 入力不可にする
☐ ツールチップを表示する
 表示するメッセージ

初期値

指定なし

入力チェック

必須チェック
 ☒ する
 ☐ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	（「2.11.2.4-1 テキスト（1行）の場合」参照）
項目種別	不可	（「2.11.2.4-1 テキスト（1行）の場合」参照）
項目名	不可	（「2.11.2.4-1 テキスト（1行）の場合」参照）
表示形式	可	入力項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● テキストエリア テキストエリアをユーザーが値を入力できる形式で表示する。 ● ラベル テキストエリアを表示せず、ユーザーは値を入力できない。 （初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。） ● 隠し項目 画面上には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として入力値を保存する。 <詳細設定> ● 入力不可にする テキストエリアをユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● ツールチップを表示する カーソルを当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。
初期値	可	（「2.11.2.4-1 テキスト（1行）の場合」参照）
入力チェック	可	（「2.11.2.4-1 テキスト（1行）の場合」参照）

2.11.2.4-3 データ入力画面＞入力項目＞項目設定＞数値の場合

項目設定

設定

項目ID	D007
項目種別	数値
項目名	数値
表示形式	☒ テキストボックス ☐ ラベル ☐ 隠し項目 <詳細設定> ☐ 入力不可にする ☐ ツールチップを表示する 表示するメッセージ ☒ 桁区切り(,)を表示する
初期値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない
自動入力機能	この項目の入力値をキーに指定されたデータベースを検索します。 取得した結果は他項目にセットすることができます。 自動入力機能の利用 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	入力項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● テキストボックス テキストボックスをユーザーが値を入力できる形式で表示する。 ● ラベル テキストボックスを表示せず、ユーザーは値を入力できない。 (初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。) ● 隠し項目 画面上には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として入力値を保存する。 <詳細設定> ● 入力不可にする テキストボックスをユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● ツールチップを表示する カーソルを当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。 ● 桁区切り(,)を表示する 自動で桁区切りを表示する。
初期値	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
自動入力機能	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)

2.11.2.4-4 データ入力画面＞入力項目＞項目設定＞日付の場合

項目設定

設定

項目ID	D008
項目種別	日付
項目名	日付
表示形式	☒ テキストボックス ☐ ラベル ☐ 隠し項目 <詳細設定> ☐ 入力不可にする ☒ カレンダー入力を表示する ☐ ツールチップを表示する 表示するメッセージ
初期値	指定なし
入力チェック	必須チェック ☒ 必須 ☐ する ☒ しない 入力可能書式 YYYY/MM/DD エラーメッセージ ☒ 標準のエラーメッセージを利用する

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	入力項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● テキストボックス テキストボックスをユーザーが値を入力できる形式で表示する。 ● ラベル テキストボックスを表示せず、ユーザーは値を入力できない。 (初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。) ● 隠し項目 画面には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として入力値を保存する。 <詳細設定> ● 入力不可にする テキストボックスをユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● カレンダー入力を表示する カレンダー入力アイコンが表示され、カレンダーから日付を選択できる。 ● ツールチップを表示する カーソルを当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。
初期値	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)

2.11.2.4-5 データ入力画面＞入力項目＞項目設定＞択一選択の場合

項目設定

設定

項目ID	D010
項目種別	択一選択
項目名	択一選択
表示形式	☒ ラジオボタン ☐ プルダウン ☐ ラベル ☐ 隠し項目 <詳細設定> ☐ 入力不可にする ☐ 1行に表示する選択肢数 2 ☐ ツールチップを表示する 表示するメッセージ
初期値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない
自動入力機能	この項目の入力値をキーに指定されたデータベースを検索します。 取得した結果は他項目にセットすることができます。 自動入力機能の利用 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1行) の場合」参照)
表示形式	可	入力項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● ラジオボタン 選択形式としてラジオボタンを利用する場合に使用する。 ● プルダウン 選択形式としてプルダウンを利用する場合に使用する。 ● 連動リスト 選択形式として連動リストを利用する場合に使用する。 (連動リストの詳細は「(補足) 連動リスト」参照) ● ラベル 選択肢を表示せず、ユーザーは値を入力できない。 (初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。) ● 隠し項目 画面上には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として入力値を保存する。 <詳細設定> ● 入力不可にする 選択肢をユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● 1行に表示する選択肢数 1行に表示する選択肢の数を設定する。 ● ツールチップを表示する カーソルを当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。
選択肢の内容	可	データベース設定で選択肢を「他データベースから参照」にした場合、選択肢の内

項目名	変更可否	説明
		容を設定する。 (選択肢の内容の詳細は「(補足) 選択肢の内容」参照)
選択肢の絞り込み機能	可	ユーザーが指定したキーワードで選択肢の表示を絞り込む機能を利用するかを設定する。 (「選択肢の内容」で項目種別を数値/日付にした場合、利用不可。)
初期値	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1行) の場合」参照)
自動入力機能	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1行) の場合」参照)

2.11.2.4-6 データ入力画面＞入力項目＞項目設定＞複数選択の場合

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	入力項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● チェックボックス 選択形式としてチェックボックスを利用する場合に使用する。 ● ラベル 選択肢を表示せず、ユーザーは値を選択できない。 (初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。) ● 隠し項目 画面には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として入力値を保存する。 ＜詳細設定＞ ● 入力不可にする チェックボックスをユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● 1 行に表示する選択肢数 1 行に表示する選択肢の数を設定する。 ● ツールチップを表示する カーソルを当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。
選択肢の内容	可	(「2.11.2.4-5 択一選択の場合」参照)
選択肢の絞り込み機能	可	(「2.11.2.4-5 択一選択の場合」参照)
初期値	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)

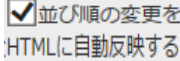
2.11.2.4-7 データ入力画面＞入力項目＞項目設定＞ファイルの場合

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	入力項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● ファイル参照 ファイル参照をユーザーが値を入力できる形式で表示する。 ● ラベル ファイル参照を表示せず、ユーザーは値を選択できない。 (初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。) ● 隠し項目 画面上には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として入力値を保存する。 <詳細設定> ● 入力不可にする ファイル参照をユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● 画像イメージを表示する 画像をサムネイルとして表示する。画像の大きさはサイズ、または拡大／縮小で指定する。 (ファイル拡張子が、「png」、「jpg」、「jpeg」、「bmp」、「gif」のファイルのみ画像表示可能。該当しないファイルは「no image」の画像が表示される。) ● ツールチップを表示する カーソルを当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。
初期値	可	入力データ、データベースの値が選択できる。又固定値を選択するとファイル管理一データ配下(パス指定)を設定できる。 初期値についての詳細は「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照
入力チェック	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)

2.11.2.5 入力データ確認画面の設定

機能設定		表示項目
アプリ部品ID	A002	
アプリ部品種別	入力データ確認画面	
アプリ部品名	必須	入力データ確認画面 ☒ アプリ部品名の変更をHTMLに自動反映する
データベース	595 sampledb(test)	
値変更時の表示	必須	☒ 強調する ☐ 強調しない ※値が変更された項目を赤字で表示します。
メモ		

機能設定		表示項目	
追加 削除 ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する			
☐	項目ID	項目名	項目設定
☐	D001	数値	数値 編集
☐	D002	テキスト（1行）	テキスト（1行） 編集
☐	D003	択一選択	択一選択 編集
☐	D005	メールアドレス	テキスト（1行） 編集

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	確認対象としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
値変更時の表示	可	更新データについて、入力された値が変更されている場合に、項目を強調するかどうかを設定する。
表示項目		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 (追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照)
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
	可	並び順を変更した際、HTML に自動で反映させるかを設定する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別。 (右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照)
項目設定	可	画面に表示する項目について設定する。 ([編集]をクリックし項目の編集をする。編集の詳細については、2.11.2.5-1～2.11.2.5-4 参照)

2.11.2.5-1 入力データ確認画面＞表示項目＞項目設定＞テキスト（1行）の場合

項目設定

設定

項目ID	D020
項目種別	テキスト（1行）
項目名	テキスト（1行）
表示形式	☐ ハイパーリンク表示する 画面に表示する文字

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目種別	不可	項目のデータ種別。
項目名	不可	項目の名称。
表示形式	可	ハイパーリンク表示する リンク表示形式で表示する。リンクをクリックすると、データ項目に登録された URL に遷移することができる。「画面に表示する文字」で文字列を設定することで、ユーザー画面に表示する文字列を指定できる。

2.11.2.5-2 入力データ確認画面＞表示項目＞項目設定＞数値の場合

項目設定		設定
項目ID	D022	
項目種別	数値	
項目名	数値	
表示形式	☒ 桁区切り(,)を表示する	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	桁区切り(,)を表示する 自動で桁区切り(,)を表示するか設定する。

2.11.2.5-3 入力データ確認画面＞表示項目＞項目設定＞日付の場合

項目設定		設定
項目ID	D006	
項目種別	日付	
項目名	日付	
表示形式	☐ 日付の表示形式を変更する 表示形式 YYYY/MM/DD ※曜日を表示する場合は「aaa」を入力してください。	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	日付の表示形式を変更する データベース設定で指定した表示形式を変更できる。 表示形式に曜日を指定できる。 指定方法は「aaa」。 ※例：YYYY/MM/DD/(aaa) → 2018/07/26(木)

2.11.2.5-4 入力データ確認画面＞表示項目＞項目設定＞ファイルの場合

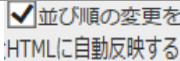
項目設定		設定
項目ID	D026	
項目種別	ファイル	
項目名	ファイル	
表示形式	☐ 画像イメージを表示する 画像の大きさ指定: サイズ 90 px	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	画像イメージを表示する 画像をサムネイルとして表示するか設定する。画像の大きさはサイズ、または拡大／縮小で指定する。 (ファイル拡張子が、「png」、「jpg」、「jpeg」、「bmp」、「gif」のファイルのみ画像表示可能。該当しないファイルは「no image」の画像が表示される。)

2.11.2.6 検索条件入力画面の設定

機能設定		検索条件項目
アプリ部品ID	A003	
アプリ部品種別	検索条件入力画面	
アプリ部品名	必須	検索条件入力画面 ☒ アプリ部品名の変更をHTMLに自動反映する
データベース	595_sampledb(test)	
検索方法	必須	☒ AND検索 ☐ OR検索
メモ	↑ ↓	

機能設定		検索条件項目	
※検索条件に最大40項目まで設定できます。			
追加 削除 ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する			
☐	項目ID	項目名	項目設定
☐	D001	数値	数値 必須 ≡ 編集
☐	D002	テキスト (1行)	テキスト (1行) 任意 部分一致 ≡ 編集
☐	D003	択一選択	択一選択 任意 ≡ 編集
☐	D005	メールアドレス	テキスト (1行) 任意 部分一致 ≡ 編集

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	検索対象としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
検索方法	可	検索方法を設定する。 （「検索条件入力画面」または「検索条件追加」部品を 2 つ以上設定した場合の検索方法は AND 検索になる。） ● AND 検索 2 つ以上の検索条件について、それら全てに合致する検索結果を抽出する。 ● OR 検索 2 つ以上の検索条件について、いずれかに合致する検索結果を抽出する。
検索条件項目		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 （追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照）
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
	可	並び順を変更した際、HTML に自動で反映させるかを設定する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別。 （右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照）
項目設定	可	画面に表示する項目について設定する。 （[編集]をクリックし項目の編集をする。編集の詳細については、2.11.2.6-1～2.11.2.6-8 参照）

2.11.2.6-1 検索条件入力画面＞検索条件項目＞項目設定＞テキスト（1行）の場合

項目設定

設定

項目ID

D005

項目種別

テキスト（1行）

項目名

テキスト（1行）

表示形式

☒ テキストボックス
☐ ラベル
☐ 隠し項目
 <詳細設定>
☐ 入力不可にする
☐ 値無検索を表示する
 初期状態指定 未選択
☐ 比較方式を表示する
☐ ツールチップを表示する
 表示するメッセージ

比較方式

☒ 部分一致
☐ 前方一致
☐ 後方一致
☐ 完全一致

初期値

指定なし

入力チェック

必須チェック
 ☒ 必須
 ☐ する
 ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目種別	不可	項目のデータ種別。
項目名	不可	項目の名称。
表示形式	可	検索条件項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● テキストボックス テキストボックスをユーザーが値を入力できる形式で表示する。 ● ラベル テキストボックスを表示せず、ユーザーは値を選択できない。 （初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。） ● 隠し項目 画面上には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として検索条件値を保存する。 <詳細設定> ● 入力不可にする テキストボックスをユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● 値無検索を表示する 検索対象のデータベースに対して、値が登録されていないデータの検索を利用するかを選択肢を表示する。「初期状態指定」で初期の選択状態を指定する。 ● 比較方式を表示する 比較方式をユーザーが設定させるための選択肢を表示する。 （比較方式の詳細は同表の「比較方式」項目を参照） ● ツールチップを表示する カーソルを当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。
比較方式	可	検索対象のデータベースから、データ検索をする際の比較方式を設定する。

項目名	変更可否	説明
		● 部分一致 検索条件値で設定された文字列を含む登録データを検索する。 ● 前方一致 検索条件値で設定された文字列が先頭部分と一致する登録データを検索する。 ● 後方一致 検索条件値で設定された文字列が末尾部分と一致する登録データを検索する。 ● 完全一致 検索条件値で設定された文字列が完全に一致する登録データを検索する。
初期値	可	検索条件項目に初期値としてセットする値を設定する。 （初期値として設定できる値の詳細は「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照）
入力チェック	可	データの入力時に行うチェック仕様を設定する。 （入力チェックの詳細は「(補足) 入力チェックの一覧」参照）

2.11.2.6-2 検索条件入力画面＞検索条件項目＞項目設定＞テキスト（複数行）の場合

項目設定

設定

項目ID	D006
項目種別	テキスト（複数行）
項目名	テキスト（複数行）
表示形式	☒ テキストボックス ☐ ラベル ☐ 隠し項目 <詳細設定> ☐ 入力不可にする ☐ 値照検索を表示する 初期状態指定 未選択 ☐ 比較方式を表示する ☐ ツールチップを表示する 表示するメッセージ
比較方式	☒ 部分一致 ☐ 前方一致 ☐ 後方一致 ☐ 完全一致
初期値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	（「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照）
項目種別	不可	（「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照）
項目名	不可	（「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照）
表示形式	可	（「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照）
比較方式	可	（「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照）
初期値	可	（「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照）
入力チェック	可	（「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照）

2.11.2.6-3 検索条件入力画面＞検索条件項目＞項目設定＞数値の場合

項目設定

設定

項目ID	D007
項目種別	数値
項目名	数値
表示形式	☒ テキストボックス（開始～終了） ☐ ラベル ☐ 隠し項目 <詳細設定> ☐ 入力不可にする ☐ 値無検索を表示する 初期状態指定：未選択 ☐ ツールチップを表示する 表示するメッセージ ☐ 桁区切り(,)を表示する
初期値(開始)	指定なし
初期値(終了)	指定なし
入力チェック	必須チェック ☒ 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照)
表示形式	可	検索条件項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● テキストボックス テキストボックスをユーザーが値を入力できる形式で表示する。 ● ラベル テキストボックスを表示せず、ユーザーは値を選択できない。 (初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。) ● 隠し項目 画面上には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として検索条件値を保存する。 <詳細設定> ● 入力不可にする テキストボックスをユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● 値無検索を表示する 検索対象のデータベースに対して、値が登録されていないデータの検索を利用するかを選択肢を表示する。「初期状態指定」で初期の選択状態を指定する。 ● ツールチップを表示する カーソルを当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。 ● 桁区切り(,)を表示する 自動で桁区切りを表示する。

項目名	変更可否	説明
初期値（開始）	可	検索条件項目に開始の初期値としてセットする値を設定する。 （初期値として設定できる値の詳細は「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照）
初期値（終了）	可	検索条件項目に終了の初期値としてセットする値を設定する。 （初期値として設定できる値の詳細は「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照）
入力チェック	可	（「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照）

2.11.2.6-4 検索条件入力画面＞検索条件項目＞項目設定＞日付の場合

項目設定

設定

項目ID	D008
項目種別	日付
項目名	日付
表示形式	☒ テキストボックス（開始～終了） ☐ ラベル ☐ 隠し項目 <詳細設定> ☐ 入力不可にする ☐ 値無検索を表示する 初期状態指定 未選択 ☒ カレンダー入力を表示する ☐ ツールチップを表示する 表示するメッセージ
初期値(開始)	指定なし
初期値(終了)	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照)
表示形式	可	検索条件項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● テキストボックス テキストボックスをユーザーが値を入力できる形式で表示する。 ● ラベル テキストボックスを表示せず、ユーザーは値を選択できない。 (初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。) ● 隠し項目 画面上には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として検索条件値を保存する。 <詳細設定> ● 入力不可にする テキストボックスをユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● 値無検索を表示する 検索対象のデータベースに対して、値が登録されていないデータの検索を利用するかの選択肢を表示する。「初期状態指定」で初期の選択状態を指定する。 ● カレンダー入力を表示する カレンダー入力アイコン  が表示され、カレンダーから日付を選択できる。 ● ツールチップを表示する カーソルをデ当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。
初期値（開始）	可	(「2.11.2.6-3 数値の場合」参照)
初期値（終了）	可	(「2.11.2.6-3 数値の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.6-1 テキスト（1行）の場合」参照)

2.11.2.6-5 検索条件入力画面＞検索条件項目＞項目設定＞択一選択の場合

項目設定

設定

項目ID

D010

項目種別

択一選択

項目名

択一選択

表示形式

☐ ブルダウン
☐ リスト
☒ チェックボックス
☐ ラベル
☐ 隠し項目
 <詳細設定>
☐ 入力不可にする
☐ 1行に表示する選択肢数

2

☐ 値無検索を表示する

初期状態指定 未選択

☐ ツールチップを表示する

表示するメッセージ

初期値

指定なし

入力チェック

必須チェック
 ☒ する
 ☐ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1行) の場合」参照)
表示形式	可	検索条件項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● ブルダウン 選択形式としてブルダウンを利用する場合に使用する。 ● 連動リスト 選択形式として連動リストを利用する場合に使用する。 (連動リストの詳細は「(補足) 連動リスト」参照) ● リスト 選択形式としてリストを利用する場合に使用する。 ● チェックボックス 選択形式としてチェックボックスを利用する場合に使用する。 ● ラベル 選択肢を表示せず、ユーザーは値を選択できない。 (初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。) ● 隠し項目 画面上には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として入力値を保存する。 (hidden 値は選択肢のコード値が保持される。) <詳細設定> ● 入力不可にする 選択肢をユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● 1 行に表示する選択肢数 表示形式をチェックボックスにした場合、1 行に表示する選択肢の数を設定する。

項目名	変更可否	説明
		● 表示する選択肢数 表示形式をリストにした場合、リストに表示する選択肢数を設定する。 ● 値無検索を表示する 検索対象のデータベースに対して、値が登録されていないデータの検索を利用するかの選択肢を表示する。「初期状態指定」で初期の選択状態を指定する。 ● ツールチップを表示する カーソルをテ当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。
選択肢の内容	可	データベース設定で選択肢を「他データベースから参照」にした場合、選択肢の内容を設定する。 (選択肢の内容の詳細は「(補足) 選択肢の内容」参照)
選択肢の絞り込み機能	可	ユーザーが指定したキーワードで選択肢の表示を絞り込む機能を利用するかを設定する。 (「選択肢の内容」で項目種別を数値／日付にした場合、利用不可。)
初期値	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1行) の場合」参照)

2.11.2.6-6 検索条件入力画面＞検索条件項目＞項目設定＞複数選択の場合

項目設定

設定

項目ID

D011

項目種別

複数選択

項目名

複数選択

表示形式

☐ ブルダウン
☐ リスト
☒ チェックボックス
☐ ラベル
☐ 隠し項目

<詳細設定>

☐ 入力不可にする
☐ 1行に表示する選択肢数

☐ 値無検索を表示する

初期状態指定 未選択

☐ ツールチップを表示する

表示するメッセージ

初期値

指定なし

入力チェック

必須チェック

必須

☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	検索条件項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● ブルダウン 選択形式としてブルダウンを利用する場合に使用する。 ● リスト 選択形式としてリストを利用する場合に使用する。 ● チェックボックス 選択形式としてチェックボックスを利用する場合に使用する。 ● ラベル 選択肢を表示せず、ユーザーは値を選択できない。 (初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。) ● 隠し項目 画面上には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として入力値を保存する。 (hidden 値は選択肢のコード値が保持される。) <詳細設定> ● 入力不可にする 選択肢をユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● 1 行に表示する選択肢数 表示形式をチェックボックスにした場合、1 行に表示する選択肢の数を設定する。 ● 表示する選択肢数 表示形式をリストにした場合、リストに表示する選択肢数を設定する。 ● 値無検索を表示する

項目名	変更可否	説明
		検索対象のデータベースに対して、値が登録されていないデータの検索を利用するかを選択肢を表示する。「初期状態指定」で初期の選択状態を指定する。 ● ツールチップを表示する カーソルをデ当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる
選択肢の内容	可	(「2.11.2.6-5 択一選択の場合」参照)
選択肢の絞り込み機能	可	(「2.11.2.6-5 択一選択の場合」参照)
初期値	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)

2.11.2.6-7 検索条件入力画面＞検索条件項目＞項目設定＞ファイルの場合

項目設定

設定

項目ID	D012
項目種別	ファイル
項目名	ファイル
表示形式	☒ テキストボックス ☐ ラベル ☐ 隠し項目 <詳細設定> ☐ 入力不可にする ☐ 値無検索を表示する 初期状態指定 未選択 ☐ 比較方式を表示する ☐ ツールチップを表示する 表示するメッセージ
比較方式	☒ 部分一致 ☐ 前方一致 ☐ 後方一致 ☐ 完全一致
初期値	指定なし
入力チェック	必須チェック ☒ する ☐ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
比較方式	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
初期値	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)

2.11.2.6-8 検索条件入力画面＞検索条件項目＞項目設定＞自動連番の場合

項目設定

設定

項目ID	D009
項目種別	自動連番
項目名	自動連番
表示形式	☒ テキストボックス ☐ ラベル ☐ 隠し項目 <詳細設定> ☐ 入力不可にする ☐ 比較方式を表示する ☒ ツールチップを表示する 表示するメッセージ
比較方式	☒ 部分一致 ☐ 前方一致 ☐ 後方一致 ☐ 完全一致
初期値	指定なし
入力チェック	必須チェック ☒ 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	検索条件項目を画面表示する際の表示形式を設定する。 ● テキストボックス テキストボックスをユーザーが値を入力できる形式で表示する。 ● ラベル テキストボックスを表示せず、ユーザーは値を選択できない。 (初期値を設定した場合、文字列で画面に表示する。) ● 隠し項目 画面には項目を表示せず、HTML 上は hidden 項目として検索条件値を保存する。 <詳細設定> ● 入力不可にする テキストボックスをユーザーが値を入力できない形式で表示する。 ● 比較方式を表示する 比較方式をユーザーが設定させるための選択肢を表示する。 (比較方式の詳細は同表の「比較方式」項目を参照) ● ツールチップを表示する カーソルを当該項目に合わせると設定したメッセージを表示する。 複数行のメッセージが設定できる。
比較方式	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
初期値	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.6-1 テキスト (1 行) の場合」参照)

2.11.2.7 データ一覧表示画面の設定

機能設定	一覧表示項目	検索条件項目	一括編集項目	CSV出力	帳票出力
アプリ部品ID	A005				
アプリ部品種別	データ一覧表示画面				
アプリ部品名	必須	データ一覧表示画面 ☒ アプリ部品名の変更をHTMLに自動反映する			
データベース	12 テスト				
ストライプテーブルの利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない			
ハイライトの利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない			
縦スクロールの利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない			
テーブル列固定表示の利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない 列目で固定			
1 ページ最大表示件数	必須	10 (1件~100件)			
削除機能の利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない			
検索機能の利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない			
検索方法	必須	☒ AND検索 ☐ OR検索			
一括編集機能の利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない			
CSV出力機能の利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない			
帳票出力機能の利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない			
メモ	 				

機能設定 一覧表示項目 検索条件項目 一括編集項目 CSV出力 帳票出力

※表示項目に最大40項目まで設定できます。

追加

削除

☒並び順の変更をHTMLに自動反映する

☐	項目ID	項目名		リンク有無	項目設定
☐	D001	部署名	テキスト (1行)	☐ あり	編集

第1ソートキー

選択してください

昇順

第2ソートキー

選択してください

昇順

第3ソートキー

選択してください

昇順

第4ソートキー

選択してください

昇順

第5ソートキー

選択してください

昇順

機能設定 一覧表示項目 検索条件項目 一括編集項目 CSV出力 帳票出力

※検索条件に最大40項目まで設定できます。

追加

削除

☒並び順の変更をHTMLに自動反映する

☐	項目ID	項目名		項目設定
☐	D002	数値	任意 数値	編集
☐	D003	テキスト (1行)	任意 テキスト (1行) 部分一致	編集
☐	D004	択一選択	任意 択一選択	編集
☐	D005	メールアドレス	任意 テキスト (1行) 部分一致	編集

機能設定

一覧表示項目

検索条件項目

一括編集項目

CSV出力

帳票出力

※一覧表示に設定された項目を一括編集項目として設定できます。

追加

削除

☐	項目ID	項目名		更新可否
☐	D001	部署名	任意 テキスト (1行)	☒ 可
☐	D002	数値	任意 数値	☒ 可
☐	D003	テキスト (1行)	任意 テキスト (1行)	☒ 可
☐	D004	択一選択	任意 択一選択	☒ 可
☐	D005	メールアドレス	任意 テキスト (1行)	☒ 可

機能設定

一覧表示項目

検索条件項目

一括編集項目

CSV出力

帳票出力

追加

削除

☐	項目ID	項目名		ヘッダータイトル
☐	D001	部署名	テキスト (1行)	部署名
☐	D002	数値	数値	数値
☐	D003	テキスト (1行)	テキスト (1行)	テキスト (1行)
☐	D004	択一選択	択一選択	択一選択
☐	D005	メールアドレス	テキスト (1行)	メールアドレス

機能設定

一覧表示項目

検索条件項目

一括編集項目

CSV出力

帳票出力

帳票テンプレート
利用可能なキー一覧

必須

[Excel_sample.xlsx](#)

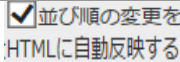
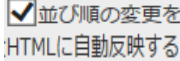
参照...

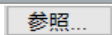
帳票ファイル名

必須

☒ 標準のファイル名を利用する
 ☐ 指定したファイル名を利用する

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	表示対象としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
ストライプテーブルの利用	可	一覧データをストライプ状に色分けして表示するかを設定する。
ハイライトの利用	可	マウスカーソルを合わせたデータをハイライト（強調）して表示するかを設定する。
縦スクロールの利用	可	縦スクロールを表示するかを設定する。
テーブル列固定表示の利用	可	テーブル列固定表示を利用するかを設定する。「利用する」に設定した場合、何列目で固定するか設定可能。
1 ページ最大表示件数	可	1 ページに表示する最大件数を設定する。（1 ～ 1 0 0 件）
削除機能の利用	可	データの削除機能を利用するかを設定する。「利用する」の場合、ユーザー画面に[削除]ボタンと項目ごとにチェックボックスが自動で追加される。他グループのデータベースでは利用できない。
検索機能の利用	可	検索機能を利用するかを設定する。「利用する」に設定した場合、検索方法や検索条件が設定可能。 （「検索機能の利用」を変更すると画面初期状態になる。）
検索方法	可	検索方法を設定する。 ● AND 検索 2 つ以上の検索条件について、それら全てに合致する検索結果を抽出する。 ● OR 検索 2 つ以上の検索条件について、いずれかに合致する検索結果を抽出する。
一括編集機能の利用	可	一括編集機能を利用するかを設定する。「利用する」の場合、ユーザー画面に[一括編集] ボタンが自動で追加される。ユーザー画面にて[一括編集] ボタンをクリックすると、表示中のデータを編集できる。編集、更新を行うと DB のデータを直接修正できる。 表示、編集可能な項目は、テキスト(単、複)、数値、日付、択一選択(静的)。 また、データ一覧表示画面に表示されていないと編集項目として追加できない。 項目ごとに編集可否の変更が可能。 一度に編集可能な件数上限は、一覧の 1 ページ表示件数の上限に依存している。 PC からのみ一括編集が可能。スマホでは利用できない。他グループのデータベースでは利用できない。
CSV 出力機能の利用	可	CSV 出力機能を利用するかを設定する。「利用する」の場合、ユーザー画面に[CSV ダウンロード]ボタンが自動で追加される。ユーザー画面にて[CSV ダウンロード]ボタンをクリックすると、表示中の一覧データが CSV 形式でダウンロードできる。 （検索状態でダウンロードすると、絞り込んだデータの CSV をダウンロードできる。）
帳票出力機能の利用	可	帳票出力機能を利用するかを設定する。「利用する」の場合、ユーザー画面に[帳票出力]ボタンが自動で追加される。ユーザー画面にて[帳票出力]ボタンをクリックす

項目名	変更可否	説明
		ると、選択したテンプレートに該当する形式（Excel か PDF）の一覧データが出力できる。
一覧表示項目		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 （追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照）
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
	可	並び順を変更した際、HTML に自動で反映させるかを設定する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別。 （右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照）
リンク有無	可	表示するデータに項目リンクを付与するかを設定する。表示中の任意のデータ内容を次画面へ引き継いで（セッション上に一時保存）展開させたい場合に指定する。
項目設定	可	入力画面に表示する項目を設定する。 （[編集]をクリックし項目の編集をする。編集の詳細については、2.11.2.7-1～2.11.2.7-5 参照）
ソートキー	可	初期状態のデータの並び順を設定する。第 1 ソートキー、第 2 ソートキー、第 3 ソートキーの順に優先的にソートされる。
検索条件項目 ※「検索機能の利用」が「利用する」の場合表示する		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 （追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照）
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
	可	並び順を変更した際、HTML に自動で反映させるかを設定する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別。 （右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照）
項目設定	可	画面に表示する項目について設定する。 （[編集]をクリックし項目の編集をする。編集の詳細については、2.11.2.6-1～2.11.2.6-8 参照）

項目名	変更可否	説明
一括編集項目 ※「一括編集機能の利用」が「利用する」の場合表示する		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 (追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照)
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別。 (右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照)
更新可否	可	項目ごとに編集の可否を設定する。
CSV 出力 ※「CSV 出力機能の利用」が「利用する」の場合表示する		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 (追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照)
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別。 (右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照)
ヘッダータイトル	可	CSV 出力した際に、ヘッダーとして表示されるタイトル名を設定する。
帳票出力 ※「帳票出力機能の利用」が「利用する」の場合表示する		
	可	帳票テンプレートのファイル参照をする。 帳票テンプレートの設定を行わないと帳票出力機能は利用できない。 設定できるのは Excel か JasperReports で作ったテンプレートのどちらか 1 つのみ。 1 つの画面からは 1 種類の帳票しか出力できない。
帳票ファイル名	可	帳票ファイル名を指定するかを設定する。「指定したファイル名を利用する」の場合、ファイル名構成が設定可能。
ファイル名構成	可	出力する文字列に関する設定。[追加]を押すとドロップダウンリストで選択した項目を追加する。[×]を押すと項目を削除する。右端の[≡]をドラッグで出力順を変更する。 ● 固定文字列 設定した文字列をそのまま出力する。 ● 年(YYYY) ファイルを出力した際の西暦を 4 桁で出力する。 ● 月(MM) ファイルを出力した際の月を 2 桁で出力する。 ● 日(DD) ファイルを出力した際の日付を 2 桁で出力する。 ● 時(hh)

		ファイルを出力した際の時間を 2 桁で出力する。 ● 分(mm) ファイルを出力した際の分を 2 桁で出力する。 ● 秒(ss) ファイルを出力した際の秒を 2 桁で出力する。 ● 置換タグ ファイル名に挿入する置換タグを設定する。[置換タグ追加]ボタンをクリックする。
置換タグ追加	-	● 画面（処理）で入力された値 データ入力画面／入力データ設定で入力されたデータを挿入する。 （置換タグとは、設定したデータをファイル名に差し込む機能。 置換タグの挿入については「(補足) 置換タグの挿入方法」参照）
現在の設定でのサンプル	不可	現在の設定でファイル出力を行った際の文字列サンプル。置換タグ部分は（置換タグ）に置き換えて表示される。

2.11.2.7-1 データ一覧表示画面＞一覧表示項目＞項目設定＞テキスト（1行）の場合

項目設定		設定
項目ID	D001	
項目種別	テキスト（1行）	
項目名	テキスト（1行）	
表示形式	☐ ハイパーリンク表示する ※一覧表示項目のリンク有無が「あり」の場合、この設定は無効となります。 画面に表示する文字	
配置	☒ 列幅を指定する ピクセル px ☐ 列幅を超える場合文字を折り返して表示する	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目種別	不可	項目のデータ種別。
項目名	不可	項目の名称。
表示形式	可	● ハイパーリンク表示する リンク表示形式で表示する。リンクをクリックすると、データ項目に登録された URL に遷移することができる。「画面に表示する文字」で文字列を設定することで、ユーザー画面に表示する文字列を指定できる。 (一覧表示項目のリンク有無が「あり」の場合、この設定は無効となる。)
配置	可	● 列幅を指定する 列幅を指定できる。列幅はピクセル、またはパーセントで設定する。 ● 列幅を超える場合文字を折り返して表示する 指定した列幅を超える文字を折り返して表示するかどうか設定する。

2.11.2.7-2 データ一覧表示画面＞一覧表示項目＞項目設定＞数値の場合

項目設定		設定
項目ID	D003	
項目種別	数値	
項目名	数値	
表示形式	☒ 桁区切り(,)を表示する	
配置	☒ 列幅を指定する	
	ピクセル px	
	☐ 列幅を超える場合文字を折り返して表示する	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1行) の場合」参照)
表示形式	可	● 桁区切り(,)を表示する 自動で桁区切り(,)を表示するか設定する。
配置	可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1行) の場合」参照)

2.11.2.7-3 データ一覧表示画面＞一覧表示項目＞項目設定＞日付の場合

項目設定		設定
項目ID	D004	
項目種別	日付	
項目名	日付	
表示形式	☐ 日付の表示形式を変更する 表示形式 YYYY/MM/DD ※曜日表示する場合は「aaa」を入力してください。	
配置	☒ 列幅を指定する ピクセル px ☐ 列幅を超える場合文字を折り返して表示する	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1行) の場合」参照)
表示形式	可	日付の表示形式を変更する データベース設定で指定した表示形式を変更できる。 表示形式に曜日を指定できる。 指定方法は「aaa」。 ※例：YYYY/MM/DD/(aaa) → 2018/07/26(木)
配置	可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1行) の場合」参照)

2.11.2.7-4 データ一覧表示画面＞一覧表示項目＞項目設定＞ファイルの場合

項目設定		設定
項目ID	D007	
項目種別	ファイル	
項目名	ファイル	
表示形式	☐ 画像イメージを表示する 画像の大きさ指定 サイズ 90 px	
配置	☒ 列幅を指定する ピクセル ☒ px ☐ 列幅を超える場合文字を折り返して表示する	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	画像イメージを表示する 画像をサムネイルとして表示するか設定する。画像の大きさはサイズ、または拡大／縮小で指定する。 (ファイル拡張子が、「png」、「jpg」、「jpeg」、「bmp」、「gif」のファイルのみ画像表示可能。該当しないファイルは「no image」の画像が表示される。)
配置	可	(「2.11.2.7-1 テキスト (1 行) の場合」参照)

2.11.2.7-5 データ一覧表示画面＞一覧表示項目＞項目設定＞テキスト（複数行）・択一選択・複数選択・自動連番の場合

項目設定

設定

項目ID	D002
項目種別	テキスト（複数行）
項目名	テキスト（複数行）
配置	☒ 列幅を指定する ピクセル px ☐ 列幅を超える場合文字を折り返して表示する

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	（「2.11.2.7-1 テキスト（1行）の場合」参照）
項目種別	不可	（「2.11.2.7-1 テキスト（1行）の場合」参照）
項目名	不可	（「2.11.2.7-1 テキスト（1行）の場合」参照）
配置	可	（「2.11.2.7-1 テキスト（1行）の場合」参照）

2.11.2.8 データ詳細表示画面の設定

機能設定		表示項目	関連データ	帳票出力
アプリ部品ID	A005			
アプリ部品種別	データ詳細表示画面			
アプリ部品名	必須	データ詳細表示画面 ☒ アプリ部品名の変更をHTMLに自動反映する		
データベース	595_sampledb(test)			
データ流用機能	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない		
削除機能の利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない		
関連データの利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない		
帳票出力機能の利用	必須	☒ 利用する ☐ 利用しない		
メモ				

機能設定		表示項目	関連データ	帳票出力
追加 削除 ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する				
☐	項目ID	項目名		項目設定
☐	D002	数値	数値	編集
☐	D003	テキスト（1行）	テキスト（1行）	編集
☐	D004	択一選択	択一選択	編集
☐	D005	メールアドレス	テキスト（1行）	編集

機能設定 表示項目 関連データ 帳票出力

※関連データに最大10個まで設定できます。

追加

削除

☐	表示順番	関連データデータベース	詳細設定
☐	1	14 2 sampledб(test)	編集

関連データ設定

設定

対象データベース

必須

以下のデータベースから取得した結果を関連データとして利用します。

14 2 sampledб(test)

絞り込み条件

☒ 全件を対象とする ☐ 条件で絞り込む

※表示項目に最大20項目まで設定できます。

追加

削除

表示項目

必須

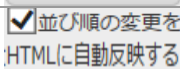
☐	項目ID	項目名	項目設定
☐	D001	テキスト (1行)	テキスト (1行) 編集
☐	D002	数値	数値 編集
☐	D003	日付	日付 編集
☐	D004	テキスト (複数行)	テキスト (複数行) 編集

ソート順

第1ソートキー		昇順 ▼
第2ソートキー		昇順 ▼
第3ソートキー		昇順 ▼
第4ソートキー		昇順 ▼
第5ソートキー		昇順 ▼

機能設定 表示項目 関連データ 帳票出力

帳票テンプレート 利用可能なキー一覧	必須	Excel sample.xlsx 参照...
帳票ファイル名	必須	☒ 標準のファイル名を利用する ☐ 指定したファイル名を利用する

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	詳細表示対象としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
データ流用機能	可	詳細表示しているデータを流用して、データを新規作成する。「利用する」の場合、ユーザー画面に[流用新規]ボタンが自動で追加される。
削除機能の利用	可	データの削除機能を利用するかを設定する。「利用する」の場合、ユーザー画面に[削除]ボタンが自動で追加される。ユーザー画面にて[削除]ボタンをクリックすると、詳細表示しているデータを削除できる。他グループのデータベースでは利用できない。
関連データの利用	可	別データベースのデータを表示できる。 表示可能なデータベース数は 10。 表示データ数上限は 1000 件。 データベースごとに表示項目、抽出条件、初期ソート順を指定できる。
帳票機能の利用	可	帳票出力機能を利用するかを設定する。「利用する」の場合、ユーザー画面に[帳票出力]ボタンが自動で追加される。ユーザー画面にて[帳票出力]ボタンをクリックすると、選択したテンプレートに該当する形式（Excel か PDF）の一覧データが出力できる。
表示項目		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 (追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照)
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
	可	並び順を変更した際、HTML に自動で反映させるかを設定する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別。 (右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照)
項目設定	可	画面に表示する項目について設定する。 ([編集]をクリックし項目の編集をする。編集の詳細については、2.11.2.8-1～2.11.2.8-4 参照)

項目名	変更可否	説明
関連データ		
追加	-	関連データ設定画面で選択した対象データベースを追加する。 選択したデータベースから表示対象の項目を追加する。 （追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照） ※データベースを条件で絞り込む場合は「(補足) 条件で絞り込む」参照
削除	-	チェックボックスで選択したデータベースを削除する。
表示順番	可	画面に表示する順番。 （右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照）
関連データデータベース	不可	選択した対象データベースの名称。
詳細設定		画面に表示するデータベースの項目について設定する。 （[編集]をクリックし項目の編集をする。編集の詳細については、2.11.2.8-1～2.11.2.8-4 参照） ※データベースを条件で絞り込む場合は「(補足) 条件で絞り込む」参照

2.11.2.8-1 データ詳細表示画面＞表示項目＞項目設定＞テキスト（1行）の場合

項目設定		設定
項目ID	D020	
項目種別	テキスト（1行）	
項目名	テキスト（1行）	
表示形式	☐ ハイパーリンク表示する 画面に表示する文字	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目種別	不可	項目のデータ種別。
項目名	不可	項目の名称。
表示形式	可	● ハイパーリンク表示する リンク表示形式で表示する。リンクをクリックすると、データ項目に登録された URL に遷移することができる。「画面に表示する文字」で文字列を設定することで、ユーザー画面に表示する文字列を指定できる。

2.11.2.8-2 データ詳細表示画面＞表示項目＞項目設定＞数値の場合

項目設定		設定
項目ID	D022	
項目種別	数値	
項目名	数値	
表示形式	☒ 桁区切り(,)を表示する	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.8-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.8-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.8-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	桁区切り(,)を表示する 自動で桁区切り(,)を表示するか設定する。

2.11.2.8-3 データ詳細表示画面＞表示項目＞項目設定＞日付の場合

項目設定

設定

項目ID	D006
項目種別	日付
項目名	日付
表示形式	☐ 日付の表示形式を変更する 表示形式 YYY/MM/DD ※曜日表示する場合は「aaa」を入力してください。

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.8-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.8-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.8-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	日付の表示形式を変更する データベース設定で指定した表示形式を変更できる。 表示形式に曜日を指定できる。 指定方法は「aaa」。 ※例：YYYY/MM/DD/(aaa) → 2018/07/26(木)

2.11.2.8-4 データ詳細表示画面＞表示項目＞項目設定＞ファイルの場合

項目設定		設定
項目ID	D026	
項目種別	ファイル	
項目名	ファイル	
表示形式	☐ 画像イメージを表示する 画像の大きさ指定 サイズ 90 px	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.8-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.8-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.8-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
表示形式	可	● 画像イメージを表示する 画像をサムネイルとして表示するか設定する。画像の大きさはサイズ、または拡大／縮小で指定する。 (ファイル拡張子が、「png」、「jpg」、「jpeg」、「bmp」、「gif」のファイルのみ画像表示可能。該当しないファイルは「no image」の画像が表示される。)

2.11.2.9 メッセージ表示画面の設定

機能設定

アプリ部品ID	A007
アプリ部品種別	メッセージ表示画面
アプリ部品名	必須 メッセージ表示画面 ☒ アプリ部品名の変更をHTMLに自動反映する
メッセージ内容 (HTML)	任意のメッセージ ↑ ↓
メモ	↑ ↓

項目名	変更可否	説明
機能設定		
メッセージ内容 (HTML)	可	画面に表示する任意のメッセージを設定する。(HTML の形式で記載)

2.11.2.10 ファイルアップロード画面の設定

機能設定	
アプリ部品ID	A013
アプリ部品種別名	ファイルアップロード画面
アプリ部品名	必須 ファイルアップロード画面 ☒ アプリ部品名の変更をHTMLに自動反映する
ファイル配置パス	ファイル管理-データ配下 data/
ファイル名の固定	必須 ☐ する ☒ しない
ファイルサイズ上限 (KB)	必須 32768
アップロード可能な拡張子	必須 ☒ html ☒ htm ☒ gif ☒ jpeg ☒ jpg ☒ png ☒ csv ☒ zip ☒ gz ☒ tar.gz ☒ jrxml ☒ jasper ☒ pdf
同一ファイル存在処理	必須 ☒ 上書きする ☐ 画面にエラーメッセージを表示する
メモ	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
ファイル配置パス	可	ファイルを配置するパスを設定する。
ファイル名の固定	可	ファイル名を固定するかを設定する。「する」の場合、ファイル名が設定可能。（拡張子を除いて記載）
ファイルサイズ上限 (KB)	可	ファイルサイズの上限を設定する。
アップロード可能な拡張子	可	アップロード可能な拡張子を設定する。 （利用環境によって選択肢（拡張子）は異なる場合あり）
同一ファイル存在処理	可	同一ファイルが存在する場合の処理を設定する。

2.11.2.11 条件分岐の設定

機能設定		分岐条件
アプリ部品ID	A008	
アプリ部品種別	条件分岐	
アプリ部品名	必須	条件分岐
メモ		

機能設定		分岐条件
追加 削除		
☐	優先順	分岐条件名
☐	1	データベースの値「1:sampledб(test)」の「D001:数値」が固定値「1」と等しい「=」
	2	上記以外の場合
		条件設定
		編集

項目名	変更可否	説明
機能設定		
設定内容は「2.11.2.1 共通項目」のみ		
分岐条件		
追加	-	分岐条件を追加する。 (分岐条件の追加については、「(補足) 分岐条件」参照)
削除	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
優先順	不可	分岐条件の優先度を示す。
分岐条件名	可	分岐条件の名称。 (右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照。)
条件設定	可	分岐する条件を設定する。 ([編集]をクリックし項目の編集をする。編集の詳細については、「(補足) 分岐条件」参照)

2.11.2.12 メール配信の設定

機能設定
配信先

アプリ部品ID	A009												
アプリ部品種別	メール配信												
アプリ部品名 必須	メール配信												
差出人アドレス 必須	info @ info.it-builder.jp												
差出人名													
返信アドレス													
件名 必須	メール配信件名												
本文 必須	メール配信本文 置換タグの挿入												
添付ファイル	※以下のデータベースの「入力データ」のファイルを添付します。 <table> <thead> <tr> <th>データベース</th> <th>データ項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選択してください</td> <td>選択してください</td> </tr> <tr> <td>選択してください</td> <td>選択してください</td> </tr> <tr> <td>選択してください</td> <td>選択してください</td> </tr> <tr> <td>選択してください</td> <td>選択してください</td> </tr> <tr> <td>選択してください</td> <td>選択してください</td> </tr> </tbody> </table>	データベース	データ項目	選択してください	選択してください	選択してください	選択してください	選択してください	選択してください	選択してください	選択してください	選択してください	選択してください
データベース	データ項目												
選択してください	選択してください												
選択してください	選択してください												
選択してください	選択してください												
選択してください	選択してください												
選択してください	選択してください												
メモ													

配信先

☒ ログイン済ユーザー属性のメールアドレスに配信する☐

項目名

☐

U003 メールアドレス

☐

U017 メールアドレス

☒ 画面（処理）で入力されたメールアドレスに配信する

追加

削除

☐

データベース

データ項目

☐

1 sampledб(test) x ▾

D005 メールアドレス x ▾

☒ 以下のメールアドレスに配信する☒ データベースのメールアドレスに配信する

項目

1 sampledб(test) x ▾

D005 メールアドレス x ▾

☐ 全件を取得する ☒ 条件で絞り込む

追加

コピー

削除

☐

抽出条件

☐

「D002:テキスト（1行）」が「a」の文字を含む「LIKE（部分一致）」

編集

項目名／ボタン	変更可否	説明
機能設定		
差出人アドレス	可	差出人アドレスを設定する。
差出人名	可	差出人名を設定する。
返信アドレス	可	ユーザーが受信したメールに対して返信する際、初期値としてセットするアドレスを設定する。 未設定の場合、差出人アドレスを初期値としてセットする。（この場合、ユーザーが返信したメールはイット builder のメールエンジンに届きますが、イット builder のメールエンジンはメールの送信のみを機能させているため、届いたメールは破棄されます。返信したユーザーにエラーメールが帰ることもありません。）
件名	可	メールの件名を設定する。
本文	可	メールの本文を設定する。
置換タグの挿入	-	メールの件名／本文に挿入する置換タグを設定する。置換タグを挿入したい箇所を選択し、[置換タグ挿入]ボタンをクリックする。 ● 画面（処理）で入力された値 データ入力画面／入力データ設定で入力されたデータを挿入する。 ● データベースから取得した値 配信先の「データベースのメールアドレスに配信する」で指定したメールアドレスに紐づくデータを挿入する。 （置換タグとは、設定したデータをメールの件名／本文に差し込む機能。 置換タグの挿入については「(補足) 置換タグの挿入方法」参照）
添付ファイル	可	添付ファイルを設定する。データ入力画面／入力データ設定で入力されたファイルのみ添付可能。 （サイズ上限は本文＋添付ファイルで 20MB 程度です。上限を超える場合はエラーとなり送信できません。）
配信先		
配信先	可	メールの配信先を設定する。 ● ログイン済ユーザー属性のメールアドレスに配信する ログイン済ユーザーのユーザーマスターに登録されているメールアドレスに配信する。 （「ユーザーマスター利用」が「利用する」の場合設定可能。） ● 画面（処理）で入力されたメールアドレスに配信する データ入力画面／入力データ設定で入力されたメールアドレスに配信する。 ● 以下のメールアドレスに配信する 複数のメールアドレスを改行で設定することで、設定したメールアドレスに一斉に配信する。 ● データベースのメールアドレスに配信する 指定されたデータベースのデータ項目に登録されているメールアドレスに配信する。

項目名／ボタン	変更可否	説明
		(あらかじめ、データ項目にメールアドレスが登録されている必要がある。配信先の絞り込みについての詳細は「(補足) 条件で絞り込む」参照)

2.11.2.13 検索条件追加の設定

機能設定 **検索条件項目**

アプリ部品ID	A010
アプリ部品種別	検索条件追加
アプリ部品名 必須	検索条件追加
データベース	595_sampledb(test)
検索方法 必須	☒ AND検索 ☐ OR検索
メモ	

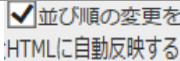
機能設定 **検索条件項目**

※検索条件に最大40項目まで設定できます。

追加

削除

☐	項目ID	項目名	項目設定
☐	D001	数値	数値 任意 と等しい「=」 編集
☐	D002	テキスト (1行)	テキスト (1行) 任意 と等しい「=」 編集
☐	D003	択一選択	択一選択 任意 のいずれか「IN」 編集
☐	D005	メールアドレス	テキスト (1行) 任意 と等しい「=」 編集

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	検索対象としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
検索方法	可	検索方法を設定する。 （「検索条件入力画面」または「検索条件追加」部品を 2 つ以上設定した場合の検索方法は AND 検索になる。） ● AND 検索 2 つ以上の検索条件について、それら全てに合致する検索結果を抽出する。 ● OR 検索 2 つ以上の検索条件について、いずれかに合致する検索結果を抽出する。
検索条件項目		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 （追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照）
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
	可	並び順を変更した際、HTML に自動で反映させるかを設定する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別。 （右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照）
項目設定	可	画面に表示する項目について設定する。 （[編集]をクリックし項目の編集をする。編集の詳細については、2.11.2.13-1～2.11.2.13-8 参照）

2.11.2.13-1 検索条件追加＞検索条件項目＞項目設定＞テキスト（1行）の場合

項目設定

設定

項目ID	D020
項目種別	テキスト（1行）
項目名	テキスト（1行）
比較方式	と等しい「=」
検索値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目種別	不可	項目のデータ種別。
項目名	不可	項目の名称。
比較方式	可	検索対象のデータベースから、データ検索をする際の比較方式を設定する。 - と等しい「=」 検索値で設定した値に完全一致する登録データを検索する。 - と等しくない「<>」 検索値で設定した値に完全不一致する登録データを検索する。 - の文字を含む「LIKE（部分一致）」 検索値で設定した値を含む登録データを検索する。 - の文字から始まる「LIKE（前方一致）」 検索値で設定した値が先頭部分と一致する登録データを検索する。 - の文字で終わる「LIKE（後方一致）」 検索値で設定した値が末尾部分と一致する登録データを検索する。 - のいずれか「IN」 検索値で設定した値のいずれかに該当する登録データを検索する。 - のいずれでもない「NOT IN」 検索値で設定した値のいずれにも該当しない登録データを検索する。 - 値なし「IS NULL」 検索対象の項目に値がない登録データを検索する。 - 値あり「IS NOT NULL」 検索対象の項目に値がある登録データを検索する。
検索値	可	検索対象のデータベースから、データ検索をする際の比較対象を設定する。 （検索値として設定できる値の詳細は「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照）
入力チェック	可	データの入力時に行うチェック仕様を設定する。 （入力チェックの詳細は「(補足) 入力チェックの一覧」参照）

2.11.2.13-2 検索条件追加> 検索条件項目> 項目設定> テキスト（複数行）の場合

項目設定

設定

項目ID	D021
項目種別	テキスト（複数行）
項目名	テキスト（複数行）
比較方式	と等しい「=」
検索値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	（「2.11.2.13-1 テキスト（1行）の場合」参照）
項目種別	不可	（「2.11.2.13-1 テキスト（1行）の場合」参照）
項目名	不可	（「2.11.2.13-1 テキスト（1行）の場合」参照）
比較方式	可	（「2.11.2.13-1 テキスト（1行）の場合」参照）
検索値	可	（「2.11.2.13-1 テキスト（1行）の場合」参照）
入力チェック	可	（「2.11.2.13-1 テキスト（1行）の場合」参照）

2.11.2.13-3 検索条件追加> 検索条件項目> 項目設定> 数値の場合

項目設定

設定

項目ID	D022
項目種別	数値
項目名	数値
比較方式	と等しい「=」
検索値	指定なし
入力チェック	☐ 必須チェック ☒ 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
比較方式	可	検索対象のデータベースから、データ検索をする際の比較方式を設定する。 - と等しい「=」 検索値で設定した値に完全一致する登録データを検索する。 - と等しくない「<>」 検索値で設定した値に完全不一致する登録データを検索する。 - より大きい、小さい「>,<」 検索値 (開始) で設定した値より大きく、検索値 (終了) で設定した値より小さい登録データを検索する。 - 以上、以下「>=,<=」 検索値 (開始) で設定した値以上かつ、検索値 (終了) で設定した値以下の登録データを検索する。 - のいずれか「IN」 検索値で設定した値のいずれかに該当する登録データを検索する。 - のいずれでもない「NOT IN」 検索値で設定した値のいずれにも該当しない登録データを検索する。 - 値なし「IS NULL」 検索対象の項目に値がない登録データを検索する。 - 値あり「IS NOT NULL」 検索対象の項目に値がある登録データを検索する。
検索値(開始/終了)	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)

2.11.2.13-4 検索条件追加> 検索条件項目> 項目設定> 日付の場合

項目設定

設定

項目ID	D023
項目種別	日付
項目名	日付
比較方式	と等しい「=」
検索値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
比較方式	可	(「2.11.2.13-3 数値の場合」参照)
検索値(開始／終了)	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1 行) の場合」参照)

2.11.2.13-5 検索条件追加＞検索条件項目＞項目設定＞択一選択の場合

項目設定

設定

項目ID	D024
項目種別	択一選択
項目名	択一選択
比較方式	のいずれか「IN」
検索値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
比較方式	可	検索対象のデータベースから、データ検索をする際の比較方式を設定する。 ● のいずれか「IN」 検索値で設定した値のいずれかに該当する登録データを検索する。 ● のいずれでもない「NOT IN」 検索値で設定した値のいずれにも該当しない登録データを検索する。 ● 値なし「IS NULL」 検索対象の項目に値がない登録データを検索する。 ● 値あり「IS NOT NULL」 検索対象の項目に値がある登録データを検索する。
検索値	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1 行) の場合」参照)

2.11.2.13-6 検索条件追加＞検索条件項目＞項目設定＞複数選択の場合

項目設定

設定

項目ID	D025
項目種別	複数選択
項目名	複数選択
比較方式	のいずれか「IN」
検索値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
比較方式	可	検索対象のデータベースから、データ検索をする際の比較方式を設定する。 ● のいずれか「IN」 検索値で設定した値のいずれかに該当する登録データを検索する。 ● のいずれでもない「NOT IN」 検索値で設定した値のいずれにも該当しない登録データを検索する。 ● 値なし「IS NULL」 検索対象の項目に値がない登録データを検索する。 ● 値あり「IS NOT NULL」 検索対象の項目に値がある登録データを検索する。
検索値	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)

2.11.2.13-7 検索条件追加＞検索条件項目＞項目設定＞ファイルの場合

項目設定		設定
項目ID	D026	
項目種別	ファイル	
項目名	ファイル	
比較方式	と等しい「=」	
検索値	指定なし	
入力チェック	必須チェック ☒ 必須 ☐ する ☒ しない	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
比較方式	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
検索値	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)

2.11.2.13-8 検索条件追加＞検索条件項目＞項目設定＞自動連番の場合

項目設定

設定

項目ID	D027
項目種別	自動連番
項目名	自動連番
比較方式	と等しい「=」
検索値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ○ する ● しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
比較方式	可	検索対象のデータベースから、データ検索をする際の比較方式を設定する。 - と等しい「=」 検索値で設定した値に完全一致する登録データを検索する。 - と等しくない「<>」 検索値で設定した値に完全不一致する登録データを検索する。 - の文字を含む「LIKE (部分一致)」 検索値で設定した値を含む登録データを検索する。 - の文字から始まる「LIKE (前方一致)」 検索値で設定した値が先頭部分と一致する登録データを検索する。 - の文字で終わる「LIKE (後方一致)」 検索値で設定した値が末尾部分と一致する登録データを検索する。 - のいずれか「IN」 検索値で設定した値のいずれかに該当する登録データを検索する。 - のいずれでもない「NOT IN」 検索値で設定した値のいずれにも該当しない登録データを検索する。
検索値	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)
入力チェック	可	(「2.11.2.13-1 テキスト (1行) の場合」参照)

2.11.2.14 検索条件クリアの設定

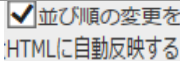
機能設定	
アプリ部品ID	A011
アプリ部品種別	検索条件クリア
アプリ部品名 必須	検索条件クリア
クリア対象 必須	☒ すべて ☐ データベース指定
メモ	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
クリア対象	可	検索条件入力画面／検索条件追加で設定した検索条件のうち、検索条件をクリアする対象を設定する。 ● すべて すべての検索条件をクリアする。 ● データベース指定 データベースを指定して検索条件をクリアする。
データベース	可	クリア対象をデータベース指定にした場合、対象のデータベースを設定する。

2.11.2.15 入力データ設定の設定

機能設定		設定項目
アプリ部品ID	A012	
アプリ部品種別	入力データ設定	
アプリ部品名	必須	入力データ設定
データベース	595_sampledb(test)	
データ操作	必須	☒ 新規データを扱う ☐ 更新データを扱う
メモ		

機能設定		設定項目	
追加 削除			
☐	項目ID	項目名	項目設定
☐	D001	数値	数値 任意 編集
☐	D002	テキスト（1行）	テキスト（1行） 任意 編集
☐	D003	択一選択	択一選択 任意 編集
☐	D005	メールアドレス	テキスト（1行） 任意 編集

項目名／ボタン	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	入力対象としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
データ操作	可	入力データの操作方法を設定する。 ● 新規データを扱う 入力データを新規データとして扱う。 ● 更新データを扱う 入力データを更新データとして扱う。更新データを扱う場合は、「データ一覧表示」または「検索条件追加」により、更新データが特定されている必要がある。
設定項目		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 (追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照)
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
	可	並び順を変更した際、HTML に自動で反映させるかを設定する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別、必須／任意。 (右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) データ項目選択」参照)
項目設定	可	画面に表示する項目について設定する。 ([編集]をクリックし項目の編集をする。編集の詳細については、2.11.2.4-1～2.11.2.4-7 参照)

2.11.2.15-1 入力データ設定> 入力項目> 項目設定> テキスト（1行）の場合

項目設定

設定

項目ID	D020
項目種別	テキスト（1行）
項目名	テキスト（1行）
値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目種別	不可	項目のデータ種別。
項目名	不可	項目の名称。
値	可	入力値としてセットする値を設定する。 （入力値として設定できる値の詳細は「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照）
入力チェック	可	データの入力時に行うチェック仕様を設定する。 （入力チェックの詳細は「(補足) 入力チェックの一覧」参照）

2.11.2.15-2 入力データ設定＞入力項目＞項目設定＞テキスト（複数行）の場合

項目設定

設定

項目ID	D021
項目種別	テキスト（複数行）
項目名	テキスト（複数行）
値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	（「2.11.2.4-1 テキスト（1行）の場合」参照）
項目種別	不可	（「2.11.2.4-1 テキスト（1行）の場合」参照）
項目名	不可	（「2.11.2.4-1 テキスト（1行）の場合」参照）
値	可	（「2.11.2.4-1 テキスト（1行）の場合」参照）
入力チェック	可	データの入力時に行うチェック仕様を設定する。 （入力チェックの詳細は「(補足) 入力チェックの一覧」参照）

2.11.2.15-3 入力データ設定＞入力項目＞項目設定＞数値の場合

項目設定

設定

項目ID	D022
項目種別	数値
項目名	数値
値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ○ する ● しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
値	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	データの入力時に行うチェック仕様を設定する。 (入力チェックの詳細は「(補足) 入力チェックの一覧」参照)

2.11.2.15-4 入力データ設定＞入力項目＞項目設定＞日付の場合

項目設定

設定

項目ID	D023		
項目種別	日付		
項目名	日付		
値	指定なし		
入力チェック	必須チェック	☒ 必須 ☐ する ☒ しない	
	入力可能書式	YYYY/MM/DD	
	エラーメッセージ	☒ 標準のエラーメッセージを利用する	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
値	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	データの入力時に行うチェック仕様を設定する。 (入力チェックの詳細は「(補足) 入力チェックの一覧」参照)

2.11.2.15-5 入力データ設定＞入力項目＞項目設定＞択一選択の場合

項目設定

設定

項目ID	D024
項目種別	択一選択
項目名	択一選択
値	指定なし
入力チェック	必須チェック 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
値	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	データの入力時に行うチェック仕様を設定する。 (入力チェックの詳細は「(補足) 入力チェックの一覧」参照)

2.11.2.15-6 入力データ設定＞入力項目＞項目設定＞複数選択の場合

項目設定

設定

項目ID	D025
項目種別	複数選択
項目名	複数選択
値	指定なし
入力チェック	必須チェック ☒ 必須 ☐ する ☒ しない

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
値	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	データの入力時に行うチェック仕様を設定する。 (入力チェックの詳細は「(補足) 入力チェックの一覧」参照)

2.11.2.15-7 入力データ設定> 入力項目> 項目設定> ファイルの場合

項目設定		設定
項目ID	D026	
項目種別	ファイル	
項目名	ファイル	
入力チェック	☐ 必須チェック ☒ 必須 ☐ する ☒ しない	

項目名	変更可否	説明
項目 ID	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目種別	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
項目名	不可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
値	可	(「2.11.2.4-1 テキスト (1 行) の場合」参照)
入力チェック	可	データの入力時に行うチェック仕様を設定する。 (入力チェックの詳細は「(補足) 入力チェックの一覧」参照)

2.11.2.16 入力データクリアの設定

機能設定	
アプリ部品ID	A013
アプリ部品種別	入力データクリア
アプリ部品名	必須 入力データクリア
クリア対象	必須 ☒ すべて ☐ データベース指定
メモ	↑ ↓

項目名	変更可否	説明
機能設定		
クリア対象	可	データ入力画面／入力データ設定で入力したデータのうち、入力内容をクリアする対象を設定する。 ● すべて すべての入力内容をクリアする。 ● データベース指定 データベースを指定して入力内容をクリアする。
データベース	可	クリア対象をデータベース指定にした場合、対象のデータベースを設定する。

2.11.2.17 入力データ登録の設定

機能設定	
アプリ部品ID	A014
アプリ部品種別	入力データ登録
アプリ部品名 必須	入力データ登録
データベース	595 sampledb(test)
メモ	↑ ↓

入力データ設定した値を DB に登録する。

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	可	データ登録先としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。

2.11.2.18 メッセージ設定の設定

機能設定

アプリ部品ID	A015
アプリ部品種別	メッセージ設定
アプリ部品名 必須	メッセージ設定
メッセージ内容 必須	
表示区分 必須	通知 ▼
メモ	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
メッセージ内容	可	表示する任意のメッセージを設定する。 (ここで設定したメッセージは次のアプリ画面部品で表示される。)
表示区分	可	Web アプリの場合、表示区分を設定する。 ● 通知 通知として表示する。 ● エラー エラーとして表示する。

2.11.2.19 転送の設定

機能設定

アプリ部品ID	A017
アプリ部品種別	転送
アプリ部品名	必須 転送
転送先URL	https://dev.it-builder.jp/app/eisui/webappsample2?s={INPUT:14,10,D003,1 sampledb(test) テキスト (1行) } へ転送する 置換タグの挿入
認証情報引継の利用	☐ 利用する
メモ	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
転送先 URL	可	転送先の URL を設定する。別のイト builder のアプリに遷移する、または別のホームページに遷移する場合に設定する。
置換タグの挿入		転送時に任意のデータを GET パラメータとして引継ぎができる。 置換タグの挿入については「(補足) 置換タグの挿入方法」参照
認証情報引継の利用	可	認証情報の引継ぎを利用するかを設定する。 ユーザーマスターを「利用する」設定がされている場合のみ表示される。

機能設定	送信データ	受信データ
アプリ部品ID	A036	
アプリ部品種別	外部API実行	
アプリ部品名 必須	外部API実行	
エンドポイント URL 必須	https://	
メモ	↑ ↓	

機能設定
送信データ
受信データ

データ形式
必須

JSON

送信データ
必須

```
{
  "key1": "value1",
  "key2": "value2"
}
```

置換タグの挿入

送信方法
必須

☒ POST
☐ GET
☐ PUT
☐ PATCH
☐ DELETE

ファイル送信
必須

☒ する
☐ しない

※以下のデータベースの「入力データ」のファイルを送信します。

データベース	データ項目
32 ファイルアップロード×	D002 ファイル ×

フォームデータ名

送信データ

ファイル

ヘッダデータ

「キー：値」で10個まで指定できます

※送信データに利用できる置換タグは値にも利用できます

:

追加

機能設定	送信データ	受信データ
保存先データベース	※以下のデータベースに受信データを保存します。 32 ファイルアップロード× ▼	
受信データ	※以下のデータ項目に受信データを保存します。10個まで指定できます。 D003 ファイルID × ▼ 抽出正規表現式 追加	
ヘッダデータ	「キー：値保存先データ項目」で10個まで指定できます。 : 選択してください ▼ 追加	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
エンドポイント URL	可	他システムが提供する API のエンドポイント URL を設定する。
送信データ		
データ形式	可	他システムが提供する API へ送信するデータの形式を設定する。
送信データ	可	他システムが提供する API へ送信するデータを設定する。
置換タグの挿入	-	送信データに挿入する置換タグを設定する。置換タグを挿入したい箇所を選択し、 [置換タグ挿入]ボタンをクリックする。 画面（処理）で入力された値 データ入力画面／入力データ設定で入力されたデータを挿入する。 （置換タグとは、設定したデータを送信データに差し込む機能。 置換タグの挿入については「(補足) 置換タグの挿入方法」参照）
送信方法	可	送信データの送信方法を設定する。
ファイル送信	可	ファイルを送信するかを設定する。 ファイルを送信する場合 データ入力画面／入力データ設定で指定されたファイルを送信する。
フォームデータ名	可	フォームデータ名を設定する。 - 送信データ - ファイル
ヘッダデータ	可	他システムが提供する API へ HTTP ヘッダーとして送信するデータを設定する。
受信データ		
保存先データベース	可	他システムが提供する API から取得した受信データを保存するデータベースを設定する。
受信データ	可	他システムが提供する API から取得した受信データを入力データ設定するデータ項目を設定する。
ヘッダデータ	可	他システムが提供する API から取得した HTTP ヘッダーのデータを保存するデータ項目を設定する。

2.11.2.21 データ一括登録の設定

機能設定	
アプリ部品ID	A001
アプリ部品種別	データ一括登録
アプリ部品名 必須	データ一括登録
データベース	595_sampledb(test)
登録ファイル 必須	ファイル管理-データ配下 data/
	※csv形式、zip形式、gz形式、tar.gz形式
登録ファイルのエンコード 必須	☐ Shift-JIS ☒ UTF-8 ☐ Windows-31J
登録ファイルの削除 必須	☐ 登録完了後ファイルを削除する ☒ 登録完了後ファイルを削除しない
データ開始行番号 必須	2
登録方法 必須	☒ 既存データに追加登録する ☐ 既存データを削除して登録する
登録項目 必須	☒ 全項目 ☐ 項目指定
メモ	

機能設定		登録項目	
追加 削除			
☐	項目ID	項目名	CSV列番号
☐	D001	数値 数値 任意	
☐	D002	テキスト (1行) テキスト (1行) 任意	
☐	D003	択一選択 択一選択 任意	
☐	D005	メールアドレス テキスト (1行) 任意	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	登録先としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
ユーザーマスター	可	登録先としてアプリ部品追加時に設定した、ユーザーマスターの名称。 関連リンクから変更できる。 「2.6.2.1 Web アプリの場合」の「(補足) ユーザーマスター変更設定」を参照
登録ファイル	可	登録ファイルのパスおよびファイル名を指定する。
登録ファイルのエンコード	可	登録ファイルのエンコード方式を設定する。
登録ファイルの削除	可	一括登録後に登録ファイルを削除するかを設定する。 - 登録完了後ファイルを削除する 登録完了後に対象ファイルを削除する。 - 登録完了後ファイルを削除しない 登録完了後に対象ファイルを削除しない。
データ開始行番号	可	登録ファイルの何行目以降のデータを対象とするかを設定する。
登録方法	可	一括登録の方法を設定する。 - 既存データに追加登録する 既存のデータに追加して登録する。 - 既存データを削除して登録する 既存のデータを削除して登録する。
登録項目	可	登録する項目を指定する。 - 全項目 全ての項目についてデータを登録する。 - 項目指定 指定した項目についてデータを登録する。
登録項目 ※「登録項目」が「項目指定」の場合表示する		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 (追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照)
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別、必須／任意。 (右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照)
CSV 列番号	可	登録ファイルのどの列番号のデータを登録するかを設定する。

2.11.2.22 データ一括更新の設定

機能設定	
アプリ部品ID	A002
アプリ部品種別	データ一括更新
アプリ部品名	必須 データ一括更新
データベース	595_sampledb(test)
更新ファイル	ファイル管理-データ配下 data/ ※csv形式、zip形式、gz形式、tar.gz形式
更新ファイルのエンコード	必須 ☐ Shift-JIS ☒ UTF-8 ☐ Windows-31J
更新ファイルの削除	必須 ☐ 更新完了後ファイルを削除する ☒ 更新完了後ファイルを削除しない
データ開始行番号	必須 2
更新のキーとなる項目	必須 data_id データID x 1 列目
更新項目	必須 ☒ 全項目 ☐ 項目指定
更新対象なし処理	必須 ☒ スキップ ☐ 新規登録
メモ	

機能設定		更新項目	
追加 削除			
☐	項目ID	項目名	CSV列番号
☐	D001	数値 数値 任意	
☐	D002	テキスト (1行) テキスト (1行) 任意	
☐	D003	択一選択 択一選択 任意	
☐	D005	メールアドレス テキスト (1行) 任意	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	更新対象としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
ユーザーマスター	可	更新対象としてアプリ部品追加時に設定した、ユーザーマスターの名称。 関連リンクから変更できる。 「2.6.2.1 Web アプリの場合」の「(補足) ユーザーマスター変更設定」を参照
更新ファイル	可	更新ファイルのパスおよびファイル名を設定する。
更新ファイルのエンコード	可	更新ファイルのエンコード方式を設定する。
更新ファイルの削除	可	一括更新後に更新対象ファイルを削除するかを設定する。 - 更新完了後ファイルを削除する 更新完了後に対象ファイルを削除する。 - 更新完了後ファイルを削除しない 更新完了後に対象ファイルを削除しない。
データ開始行番号	可	更新ファイルの何行目以降のデータを対象とするかを設定する。
更新のキーとなる項目	可	データベース上のキーとなる項目をプルダウンで選択し、更新ファイルのキーとなる項目を列番号で指定する。
更新項目	可	更新する項目を指定する。 - 全項目 全ての項目についてデータを更新する。 - 項目指定 指定した項目についてデータを更新する。
更新対象なし処理	可	更新対象がない場合の処理を設定する。 - スキップ 更新処理を行わない。 - 新規登録 新規登録する。
更新項目 ※「更新項目」が「項目指定」の場合表示する		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 (追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照)
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別、必須／任意。 (右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照)
CSV 列番号	可	更新ファイルのどの列番号のデータを更新するかを設定する。

2.11.2.23 データ一括削除の設定

機能設定	
アプリ部品ID	A003
アプリ部品種別	データ一括削除
アプリ部品名	必須 データ一括削除
データベース	595 sampledb(test)
削除ファイル	ファイル管理-データ配下 data/ ※csv形式、zip形式、gz形式、tar.gz形式
削除ファイルのエンコード	必須 ☐ Shift-JIS ☒ UTF-8 ☐ Windows-31J
削除ファイルの削除	必須 ☐ 削除完了後ファイルを削除する ☒ 削除完了後ファイルを削除しない
データ開始行番号	必須 2
削除のキーとなる項目	必須 data_id データID x 1 列目
メモ	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	削除対象としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
ユーザーマスター	可	削除対象としてアプリ部品追加時に設定した、ユーザーマスターの名称。 関連リンクから変更できる。 「2.6.2.1 Web アプリの場合」の「(補足) ユーザーマスター変更設定」を参照
削除ファイル	可	削除ファイルのパスおよびファイル名を設定する。
削除ファイルのエンコード	可	削除ファイルのエンコード方式を設定する。
削除ファイルの削除	可	一括削除後に削除対象ファイルを削除するかを設定する。 - 削除完了後ファイルを削除する 削除完了後に対象ファイルを削除する。 - 削除完了後ファイルを削除しない 削除完了後に対象ファイルを削除しない。
データ開始行番号	可	削除ファイルの何行目以降のデータを対象とするかを設定する。
削除のキーとなる項目	可	データベース上のキーとなる項目をプルダウンで選択し、削除ファイルのキーとなる項目を列番号で指定する。

2.11.2.24 データ一括出力の設定

機能設定	
アプリ部品ID	A004
アプリ部品種別	データ一括出力
アプリ部品名	必須 データ一括出力
データベース	595_sampledb(test)
出力ファイル	ファイル管理-データ配下 data/ ※csv形式、zip形式、gz形式、tar.gz形式 ※出力可能なデータ数の上限は、1000000件です。 (ファイルありの場合、2000件です。)
出力ファイルのエンコード	必須 ☐ Shift-JIS ☒ UTF-8 ☐ Windows-31J
出力項目	必須 ☒ 全項目 ☐ 項目指定
データID	必須 ☒ 出力する ☐ 出力なし
同一ファイル名存在処理	必須 ☐ スキップ ☒ 上書きする
メモ	

機能設定		出力項目
追加 削除		
☐	項目ID	項目名
☐	D001	数値 数値 任意
☐	D002	テキスト (1行) テキスト (1行) 任意
☐	D003	択一選択 択一選択 任意
☐	D005	メールアドレス テキスト (1行) 任意

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	出力対象としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。
ユーザーマスター	不可	出力対象としてアプリ部品追加時に設定した、ユーザーマスターの名称。
出力ファイル	可	出力ファイルのパスおよびファイル名を設定する。
出力ファイルのエンコード	可	出力ファイルのエンコード方式を設定する。
出力項目	可	出力する項目を指定する。 ● 全項目 全ての項目についてデータを更新する。 ● 項目指定 指定した項目についてデータを更新する。
データ ID	可	データ ID を出力するかを設定する。
同一ファイル名存在処理	可	同一ファイル名が存在した場合の処理を設定する。 ● スキップ 出力処理を行わない。 ● 上書きする データを上書きする。
出力項目 ※「出力項目」が「項目指定」の場合表示する		
	-	データ項目選択画面のチェックボックスで選択した項目を追加する。 (追加操作方法は「(補足) データ項目選択」参照)
	-	チェックボックスで選択した項目を削除する。
項目 ID	不可	データベースの項目 ID。
項目名	不可	データベースで設定した項目名、種別、必須／任意。 (右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照)

2.11.2.25 ファイルダウンロードの設定

【ダウンロード方式：HTTP】

機能設定	
アプリ部品ID	A002
アプリ部品種別	ファイルダウンロード
アプリ部品名	必須 ファイルダウンロード
ダウンロード方式	必須 ☒ HTTP ☐ FTP
ファイル取得先URL	必須
ファイル配置パス	必須 ファイル管理-データ配下 data/
同一ファイル名存在処理	必須 ☐ スキップ ☒ 上書きする
メモ	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
ダウンロード方式	可	ダウンロードの方式を設定する。
ファイル取得先URL	可	ファイル取得先の URL を設定する。
ファイル配置パス	可	ダウンロードファイルの配置先のパスを設定する。
同一ファイル名存在処理	可	同一ファイル名が存在した場合の処理を設定する。 - スキップ 出力処理を行わない。 - 上書きする データを上書きする。

【ダウンロード方式：FTP】

機能設定	
アプリ部品ID	A002
アプリ部品種別	ファイルダウンロード
アプリ部品名	必須 ファイルダウンロード
ダウンロード方式	必須 ☐ HTTP ☒ FTP
ホスト名	必須
ポート番号	必須
ユーザーID	必須
パスワード	必須
パッシブモード	必須 ☒ 使用する ☐ 使用しない
転送モード	必須 ☒ バイナリモード ☐ アスキーモード
ファイルパス	必須
ファイル配置パス	必須 ファイル管理-データ配下 ▼ data/
同一ファイル名存在処理	必須 ☐ スキップ ☒ 上書きする
メモ	↑ ↓

項目名	変更可否	説明
機能設定		
ダウンロード方式	可	ダウンロードの方式を設定する。
ホスト名	可	接続するホスト名を設定する。
ポート番号	可	接続するポート番号を設定する。
ユーザーID	可	接続時のユーザーID。
パスワード	可	接続時のパスワード。
パッシブモード	可	パッシブモードを使用するかを設定する。
転送モード	可	転送モードを設定する。
ファイル配置パス	可	ダウンロードファイルの配置先のパスを設定する。
同一ファイル名存在 処理	可	同一ファイル名が存在した場合の処理を設定する。 ● スキップ 出力処理を行わない。 ● 上書きする データを上書きする。

2.11.2.26 バッチアプリ実行の設定

機能設定

アプリ部品ID	A019
アプリ部品種別	バッチアプリ実行
アプリ部品名	必須 バッチアプリ実行
バッチアプリ	必須 選択してください
メモ	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
バッチアプリ	可	実行するバッチアプリを設定する。

※Web アプリからの同一バッチアプリへの起動要求は、直列で実行される。

※同一バッチアプリが別手段(即時起動、時刻起動)にて実行中は、終了を待って実行される。

2.11.2.27 帳票生成の設定

機能設定	
アプリ部品ID	A009
アプリ部品種別	帳票生成
アプリ部品名	必須 帳票生成
データベース	12 テスト
関連データの利用	必須 ☐ 利用する ☒ 利用しない
帳票テンプレート 利用可能なキー一覧	必須 参照...
帳票ファイル名	必須 ☒ 標準のファイル名を利用する ☐ 指定したファイル名を利用する
帳票保存先	必須 生成した帳票は以下の入力データ項目に保存します。
メモ	

項目名	変更可否	説明
機能設定		
関連データの利用	可	関連データの同時出力が可能。
帳票テンプレート 利用可能なキー一覧	可	帳票テンプレートを設定。 詳細は別紙「1-08 イット builderEXcel データ出力」を参照。
帳票ファイル名	可	(「2.11.2.7 データー一覧表示画面の設定 帳票出力」参照)
帳票保存先	可	出力内容のインプットは入力セッション。 生成した帳票は入力セッションに保存する。 帳票生成実行後にフロー設定でデータ登録部品を設定しなければ DB には登録されない。

※本機能部品により画面遷移中に帳票を生成できる。

生成できる帳票は、データ詳細表示画面で出力できる内容と同等の単一データのみ。データー一覧表示画面で出力できる一覧帳票は出力できない。また、Excel か PDF のどちらか 1 つだけでありテンプレートの拡張子によって判定される。

2.11.2.28 入力データ削除の設定

機能設定	
アプリ部品ID	A001
アプリ部品種別	入力データ削除
アプリ部品名 必須	入力データ削除
データベース	86 テスト
メモ	

入力データ設定したレコードを DB から削除する。

項目名	変更可否	説明
機能設定		
データベース	不可	データ削除先としてアプリ部品追加時に設定した、データベースの名称。

2.11.2.29 コメントの設定

コメント	必須	コメント
------	----	------

項目名	変更可否	説明
コメント	可	コメント内容を設定する。

※本機能部品により、コメント行を表示させることができる。コメントを付けることで、アプリ部品の設定での項目が見やすくなる。

(補足) 入力チェックの一覧

データの入力時に行うチェック仕様を設定する。

チェック名	説明
必須チェック	入力値が NULL もしくは空文字の場合のエラーメッセージを設定する。 (データベース設定で「必須／任意」を「任意」にした場合、既存の設定を変更できる。アプリ部品で設定した内容が優先される。)
再入力チェック	再入力値が入力値と一致しない場合のエラーメッセージを設定する。 (表示形式がテキストボックスの場合、設定可。)
重複チェック	入力値が既存のデータと重複した場合のエラーメッセージを設定する。 (データベース設定で「重複」を「不可」にした場合、設定可。)
入力可能書式	入力値が入力可能数値でない場合のエラーメッセージを設定する。 (データベース設定で「数値範囲」を指定した場合、設定可。)
入力可能文字種類	入力値が入力可能文字種類でない場合のエラーメッセージを設定する。 (データベース設定で「文字種類」を指定した場合、設定可。)
入力可能文字数	入力値／ファイル名が入力可能文字数でない場合のエラーメッセージを設定する。 (データベース設定で「文字数」を指定した場合、設定可。)
入力可能数値	入力値が入力可能数値でない場合のエラーメッセージを設定する。 (データベース設定で「数値範囲」を指定した場合、設定可。)
入力可能日付	入力値が入力可能日付でない場合のエラーメッセージを設定する。 (データベース設定で「日付範囲」を指定した場合、設定可。)
入力可能選択数	入力値が入力可能選択数でない場合のエラーメッセージを設定する。 (データベース設定で「選択数範囲」を指定した場合、設定可。)
入力可能ファイルサイズ	入力値が入力可能ファイルサイズでない場合のエラーメッセージを設定する。 (データベース設定で「ファイルサイズ」を指定した場合、設定可。)

(補足) 初期値／検索値／値の一覧

初期値／検索値／値にあらかじめセットする値を設定する。

項目名	説明
指定なし	値の指定をしない。
固定値	設定した文字列を値として設定する。 (文字列を設定しない場合、空文字を値として設定する。) 複数の値を設定したい場合は(例: 5つの選択肢のなかから3つを指定する)縦書きで改行して設定する。(,などの区切り文字は不要) ファイル項目に対して初期値を設定した場合のみファイル管理－データ配下(パス指定)が設定できる。ファイル管理ファイルを空欄で設定すると、初期値クリアとなる。(ファイル管理の詳細は「イット builder 基本操作ガイドライン」-「6 ファイル管理」参照)
入力データ	設定したデータベースの項目に入力されているデータを値として設定する。
ユーザーの属性	ログインしたユーザーの個人情報(設定したユーザー属性の項目)を値として設定する。 (「ユーザーマスター利用」を「する」場合、設定可。)
URL パラメータ	ユーザーがアクセスした URL のパラメータ値を値として設定する。
リファラ	ユーザーがアクセスした時のリファラを値として設定する。
ユーザーエージェント	アクセスしたユーザーのユーザーエージェントを値として設定する。
IP アドレス	アクセスしたユーザーの IP アドレスを値として設定する。
リクエストヘッダー	設定したリクエストヘッダーの値を値として設定する。
Cookie	設定した Cookie の値を値として設定する。
データベースの値	設定したデータベースの項目に登録されているデータを値として設定する。 (条件で絞り込む場合は「(補足) 条件で絞り込む」参照)
データベースの集計結果	設定したデータベースに対しての集計値を値として設定する。集計値は以下から選択する。 ● 合計 設定したデータ項目の値の合計値。 ● 平均 設定したデータ項目の値の平均値。 ● 最小値 設定したデータ項目の値の中の最小値。 ● 最大値 設定したデータ項目の値の中の最大値。 ● 件数 設定したデータ項目のデータ件数。 (条件で絞り込む場合は「(補足) 条件で絞り込む」参照)
システム日時	設定したシステム年月日時を値として設定する。
編集・計算結果	設定した編集・計算結果の値を値として設定する。 (編集・集計結果の設定の詳細については「(補足) 編集・計算結果の設定」参照)

(補足) 自動入力機能

自動入力機能の利用を「する」とした場合、ユーザーが入力した値をキーにして、設定したデータベースの検索対象データ項目に一致するデータを取得し、データを入力画面にセットする。

(例)

<アプリ設定画面>

- ・項目設定の[編集]をクリックする。

変更

機能設定 入力項目

追加 削除 ☒ 並び順の変更をHTMLに目

☐	項目ID	項目名	任意	テキスト (1行)	項目設定
☐	D003	社員番号	任意	テキスト (1行)	編集
☐	D004	氏名	任意	テキスト (1行)	編集
☐	D001	部署名	任意	テキスト (1行)	編集

- ・自動入力機能の利用で「する」を選択肢、検索対象および自動入力するデータ項目を設定する。

自動入力機能

この項目の入力値をキーに指定されたデータベースを検索します。取得した結果は他項目にセットすることができます。

自動入力機能の利用

☒ する ☐ しない

自動入力機能の検索対象

☐ 郵便番号マスタ ☒ 任意のデータベースを指定

以下のデータベースを検索対象として設定します。

1 sample x ▼ D003 社員番号 x ▼

☒ 全件を取得する ☐ 条件で絞り込む

以下のデータ項目を自動入力します。

追加	NO	データベースから取得する項目	画面内の入力項目	操作
	1	D001 部署名 x ▼	D001 部署名 x ▼	✕
	2	D004 氏名 x ▼	D004 氏名 x ▼	✕

※データベースを条件で絞り込む場合は「(補足) 条件で絞り込む」参照

<ユーザー画面>

社員番号 00001 x 検索

氏名

部署名

社員番号	ビル名	部署名	氏名
00001	第一ビル	営業部	山田太郎
00002	第二ビル	広報部	加藤花子
00003	第一ビル	総務部	鈴木次郎
00004	第一ビル	営業部	斉藤桃子

sample

社員番号 00001 検索

氏名 山田太郎

部署名 営業部

※取得した項目が複数存在する場合、取得した先頭の値を設定する。

(補足) 選択肢の内容

データベース設定にて、データ項目の選択肢の設定を「他のデータベースを参照」とした場合、対象のデータベースとデータ項目の値を設定する。

(例)

<アプリ設定画面>

- ・項目設定の[編集]をクリックする。

機能設定 | 入力項目

追加 削除 ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する

☐	項目ID	項目名	目設定
☐	D003	社員番号	編集
☐	D004	氏名	任意 テキスト (1行) 編集
☐	D005	部署名	任意 択一選択 編集

- ・対象データベース、データ項目を設定する。

選択肢の内容

以下のデータベースから取得した結果を選択肢として利用します。

対象データベース: 1 sample

☒ 全件を取得する ☐ 条件で絞り込む

以下のデータ項目の値を選択肢として利用します。

選択肢: 選択肢名(必須): D001 部署名 並び順(必須): D003 社員番号 昇順 先讀文字列: 選択してください ☐ 空白を表示

※データベースを条件で絞り込む場合は「(補足) 条件で絞り込む」参照

※選択肢名に設定可能な項目種別は以下。

- ・数値
- ・テキスト (1行)
- ・日付

<ユーザー画面>

社員番号 氏名 部署名

検索

選択肢: 営業部 広報部 総務部

社員番号	ビル名	部署名	氏名
00001	第一ビル	営業部	山田太郎
00002	第二ビル	広報部	加藤花子
00003	第一ビル	総務部	鈴木次郎
00004	第一ビル	営業部	斉藤桃子

sample

(補足) 分岐条件

- ・条件設定の[編集]をクリックする。

機能設定 分岐条件

追加 削除

☐	優先順	分岐条件名
☐	1	1
	2	上記以外の場合

条件設定

編集

[編集]をクリックする。

- ・[追加]をクリックする。

条件設定

条件名 必須

条件設定 必須

追加 削除

☐ 条件

[追加]をクリックする。

- ・各項目を入力（選択）し、[条件一覧に登録]をクリックする。

条件設定

条件名 必須

条件設定 必須

追加 削除

☐ 条件

条件追加

対象 必須 選択して

条件 必須

値 必須 選択して

条件一覧に登録 キャンセル

[条件一覧に登録]をクリックする。

※条件一覧に複数の条件を登録した場合、それらすべての条件に合致する結果を真とする。

- ・ [設定]をクリックする。

条件設定

条件名 必須 1 x

条件設定 必須

追加 削除

条件	編集
☐	ユーザーの属性名「ログインID」が固定値「0001」と等しい「=」

設定 キャンセル

[設定]をクリックする。

※条件追加の項目説明

項目名	説明
対象	分岐条件の対象を設定する。 ● 入力データ (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照) ● ユーザーの属性 (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照) ● ログイン状態 ユーザーのログイン状態。 ● URL パラメータ (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照) ● リファラ (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照) ● ユーザーエージェント (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照) ● IP アドレス (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照) ● リクエストヘッダー (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照) ● Cookie (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照) ● データベースの値 (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照)

項目名	説明
	● データベースの集計結果 (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照) ● システム日時 (「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照)
条件	分岐する条件を設定する。 ● と等しい「=」 対象データが設定した値に完全一致する。 ● と等しくない「<>」 対象データが設定した値に完全不一致する。 ● の文字を含む「LIKE (部分一致)」 対象データが設定した値を含む。 ● の文字から始まる「LIKE (前方一致)」 対象データの先頭部分が設定した値と一致する。 ● の文字で終わる「LIKE (後方一致)」 対象データの末尾部分が設定した値と一致する。 ● のいずれか「IN」 設定した値が対象データのいずれかがに該当する。 ● のいずれでもない「NOT IN」 設定した値が対象データいずれにも該当しない。 ● 値なし「IS NULL」 対象データの値がない。 ● 値あり「IS NOT NULL」 対象データの値がある。 ● より大きい「>」 対象データが設定した値より大きい。 ● より小さい「<」 対象データが設定した値より小さい。 ● 以上「>=」 対象データが設定した値以上。 ● 以下「<=」 対象データが設定した値以下。
値	設定した対象と比較する値を設定する。 (設定できる値については「(補足) 初期値／検索値／値の一覧」参照)

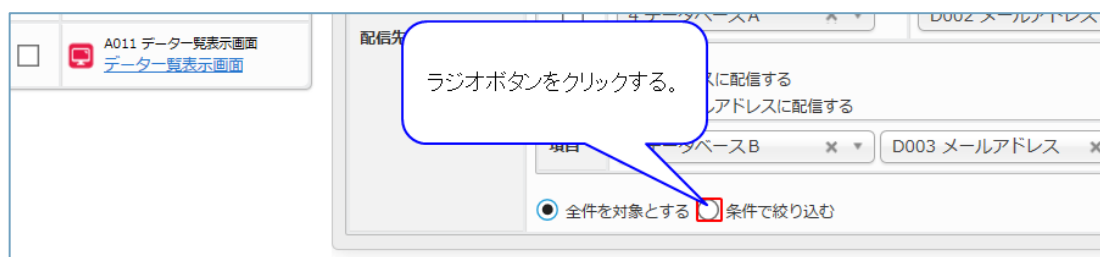
(補足) 条件で絞り込む

指定したデータベースについて条件で絞り込みをする。

(例)

<アプリ設定画面>

- ・ [条件で絞り込む]をクリックする。(メール配信部品の画面例)



- ・ 各項目を入力（選択）し、[追加]をクリックする。



※条件追加の項目説明

項目名	説明
対象	指定したデータベースの対象とする項目を設定する。
条件	(「(補足) 分岐条件」参照)
値	(「(補足) 分岐条件」参照)

(補足) 連動リスト

上位選択リストで選択された値に応じて、下位選択リストの選択肢を絞り込んで表示したい場合に使用する。データベース設定にて、データ項目の選択肢の設定を「他のデータベースを参照」とした場合、設定可能。

※上位階層は4階層まで設定可能

(補足) 連動リスト 上位選択肢の保存

上位選択肢の値を入力項目に保存できる。保存先として指定可能な項目種別は、テキスト（1行）、テキスト（複数行）、数値、日付、択一選択。

※最下位層で指定する項目のデータベース定義が重複「不可」の場合のみ設定できる。

(例)

<アプリ設定画面>

- ・項目設定の[編集]をクリックする。

- ・表示形式、対象データベース、選択肢を設定する。

※データベースを条件で絞り込む場合は「（補足）条件で絞り込む」参照

<ユーザー画面>

上位階層 2 で「第一ビル」を選択した場合

択一選択

第一ビル

部署名を選択してください

社員番号	ビル名	部署名	氏名
00001	第一ビル	営業部	山田太郎
00002	第二ビル	広報部	加藤花子
00003	第一ビル	総務部	鈴木次郎
00004	第一ビル	営業部	斉藤桃子

sample

上位階層 1 で「営業部」を選択した場合

択一選択

第一ビル

部署名を選択してください

営業部

総務部

択一選択

第一ビル

営業部

選択してください

山田太郎

斉藤桃子

ビル名保存先	部署名保存先	氏名
第一ビル	営業部	山田太郎

※上位選択肢の保存例

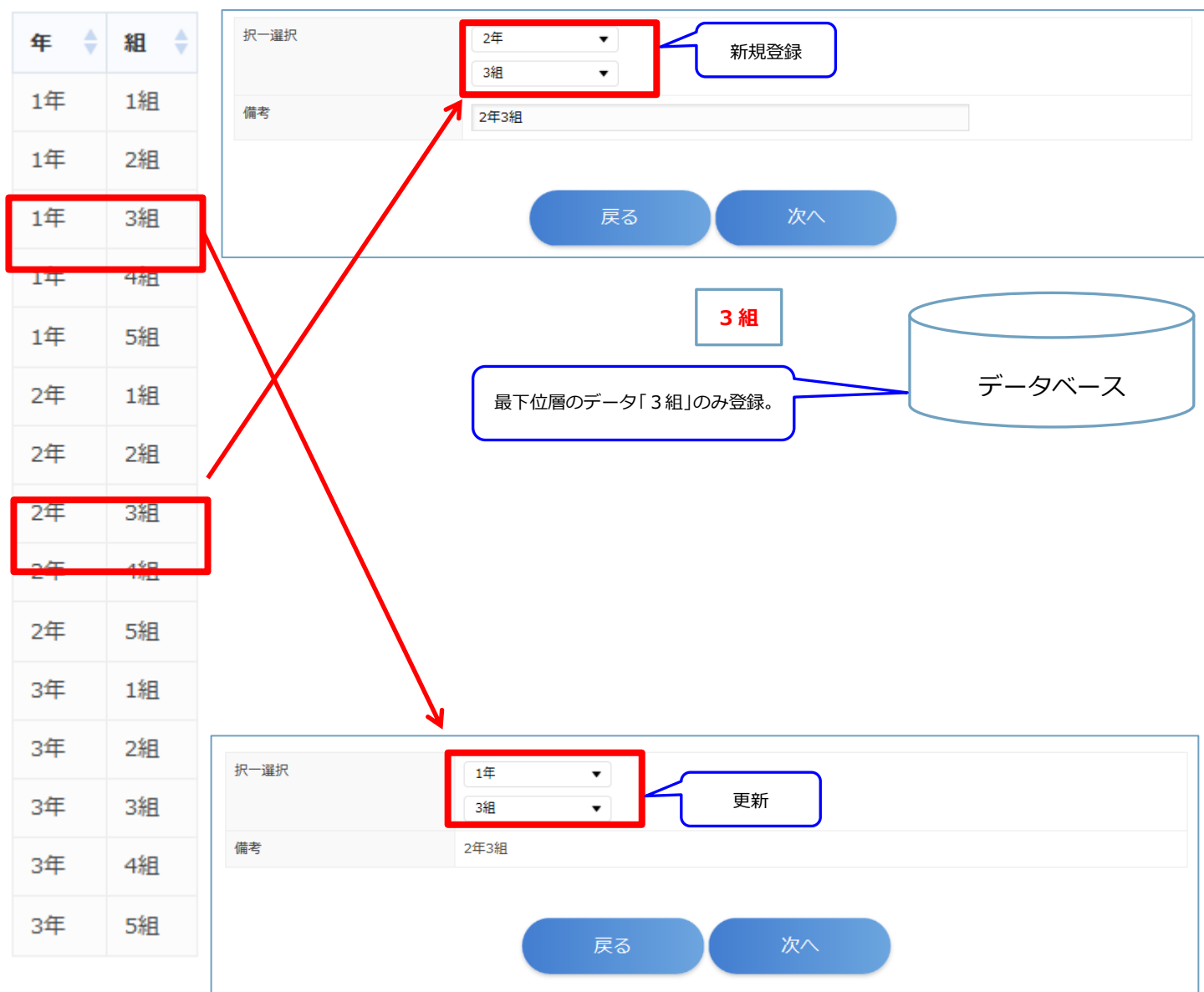
(補足) 連動リストの制約

※最下位層のデータベース定義が重複「不可」でない場合、データ更新時に画面表示される上位階層が、新規登録時と違う場合がある。

(例)

●新規登録時

連動リストは、上位階層のデータを選択して最下位層のデータを特定する「絞り込み機能付き択一選択項目」である。保存先を指定しないと最下位層のみが保存される。



●更新時

当該データを選択した場合には上記のように登録した内容とは異なる上位階層の項目が表示されることもある。

このまま更新を実行してもデータベースに登録されているのは「3組」だけのためデータは壊れない。

(補足) 編集・計算結果の設定

ユーザーが入力した値について編集・計算をする設定。

入力データ設定部品で、項目種別がテキスト（1行）、テキスト（複数行）、日付、数値の場合設定可能。

（例）

＜アプリ設定画面＞

- ・項目設定の[編集]をクリックする。

変更

機能設定 設定項目

追加 削除

☐	項目ID	項目名		項目設定
☐	D011	一人あたりの個数	任意 数値	編集

[編集]をクリックする。

- ・「編集・計算結果」を選択し、[編集]をクリックする。

項目設定

設定

項目ID	D011
項目種別	数値
項目名	一人あたりの個数
値	編集・計算結果 以下の編集・計算の結果の値を設定します。
入力チェック	必須 ☒ する ☐ しない

[編集]をクリックする。

- ・データ項目／関数を挿入し、編集・計算式欄に内容を入力する。

編集・計算式

{D009:合計数}/{D010:メンバー数}

※計算式に使用できる演算子は「+（足し算）」「-（引き算）」「*（掛け算）」「/（割り算）」です。

データ項目	関数
D010 メンバー数	四捨五入 (ROUND)

[挿入]をクリックする。

(補足) 関数一覧

項目名	説明
四捨五入 (ROUND)	数値を四捨五入して指定された桁数にする。 (正の桁数の場合、小数点
切り上げ (ROUNDUP)	数値を指定された桁数に切り上げる。
切り捨て (ROUNDDOWN)	数値を指定された桁数で切り捨てる。
小文字変換	文字列に含まれる英字をすべて小文字に変換する。
大文字変換	文字列に含まれる英字をすべて大文字に変換する。
半角変換	文字列をすべて半角文字に変換する。
全角変換	文字列をすべて全角文字に変換する。
文字結合	複数の文字列を 1 つの文字列に結合します。
文字置換	文字列中の指定された文字を別の文字に置換する。
部分文字列の取得	文字列中の指定された位置の文字を取得する。
前後の空白削除	文字列前後のスペースを削除する。
値変換	条件分岐で値を変換します。
正規表現による部分文字列の取得	正規表現パターンを検索して文字列から抽出した文字を返します。
数値変換	文字列を数値に変換します。

上記以外にも、PostgreSQL の関数を利用することができる。

<ユーザー画面>

合計数	500
メンバー数	10



入力データ設定

一人当たりの個数
=[合計数]の入力値÷[メンバー数]の入力値

合計数	メンバー数	一人あたりの個数
500	10	50

(補足) 置換タグの挿入方法

- ・置換タグを挿入したい箇所にカーソルを合わせ、[置換タグの挿入]をクリックする。

The screenshot shows a form with two main sections: '件名' (Subject) and '本文' (Body). The '件名' section has a label '必須' (Required) and a text input field containing '承認依頼'. The '本文' section also has a label '必須' (Required) and a large text area. Inside the text area, there is a message: 'システム管理者さま 様より承認依頼がありました。' (A request for approval from the system administrator). A blue callout bubble points to the text area with the text: '置換タグを挿入したい箇所にカーソルを合わせる。' (Place the cursor at the location where you want to insert the replacement tag). Another blue callout bubble points to an orange button labeled '置換タグの挿入' (Insert Replacement Tag) with the text: '[置換タグの挿入]をクリックする。' (Click [Insert Replacement Tag]). At the bottom of the form, there is a note: '※以下のデータベースの「入力データ」' (※Input data of the database below).

＜画面（処理）で入力された値を挿入する場合＞

- ・置き換えたいデータのデータベース／データ項目を選択し、[挿入]をクリックする。

The screenshot shows a dialog box titled '置換タグ挿入' (Insert Replacement Tag). Inside the dialog, there is a section titled '置換データの取得元を選択してください。' (Please select the source of the replacement data). Below this title, there are two radio buttons: '画面（処理）で入力された値' (Value entered on the screen (process)) and 'データベースから取得した値' (Value retrieved from the database). The first radio button is selected and highlighted with a red box. Below the radio buttons, there is a text area containing the message: 'データ入力画面や入力データ設定で入力されたデータに置き換えるための置換タグです。' (This is a replacement tag for replacing data entered on the data input screen or in the input data settings). Below the text area, there is a section titled '以下データ項目のデータに置換します。' (Replace the data of the following data items). This section contains two dropdown menus: the first one is set to '1 sampledб(test)' and the second one is set to 'D002 氏名'. Below the dropdown menus, there is an orange button labeled '挿入' (Insert). A blue callout bubble points to this button with the text: '[挿入]をクリックする。' (Click [Insert]). At the bottom right of the dialog, there is a button labeled '閉じる' (Close).

※データ入力画面や入力データ設定で入力されたデータに置換することができる。

システム管理者さま

{INPUT:13,1,D002,sampledб(test) 氏名}様より承認依頼がありました。

本文 必須

置換タグの挿入

＜データベースから取得した値を挿入する場合＞

- ・置き換えたいデータのデータ項目を選択し、[挿入]をクリックする。

置換タグ挿入

置換データの取得元を選択してください。

☐ 画面（処理）で入力された値 ☒ データベースから取得した値

配信先の「データベースのメールアドレス」で指定したメールアドレスに紐づくデータを、件名および本文に挿入するための置換タグです。

以下データ項目のデータに置換します。

1 sampledб(test)

D002 氏名

挿入

[挿入]をクリックする。

閉じる

※配信先の「データベースのメールアドレス」で指定したメールアドレスに紐付くデータに置換することができ

システム管理者さま

{DATA:13,1,D002,sampledб(test) 氏名}様より承認依頼がありました。

本文 必須

置換タグの挿入

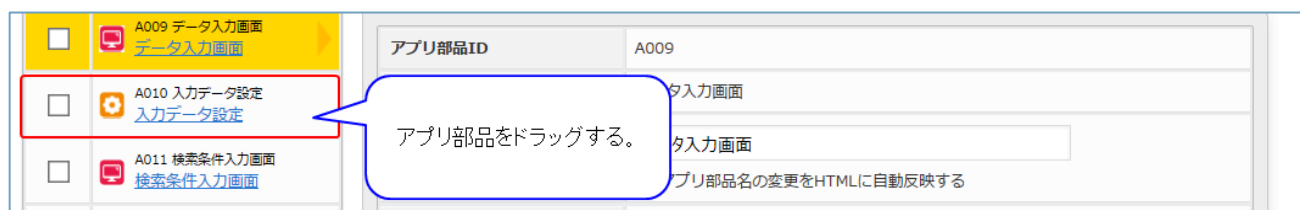
2.12 アプリ部品の並順更新

2.12.1操作方法

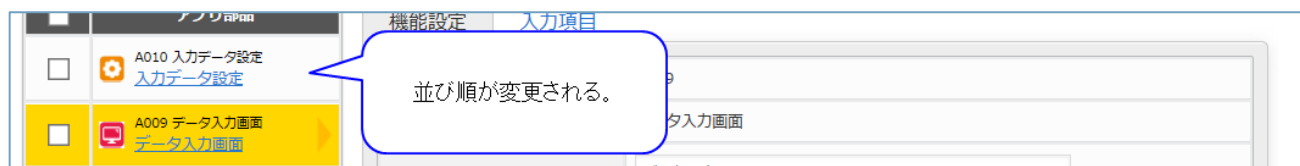
- ・アプリ名をクリックする。



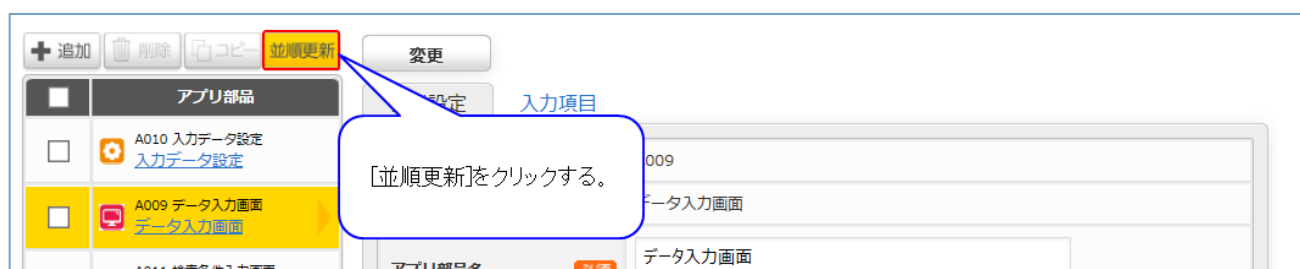
- ・並び順を更新するアプリ部品をドラッグする。



- ・アプリ部品の並び順が変更される。



- ・[並順更新]をクリックする。



(補足) アプリ部品の並順更新が可能な条件

該当のアプリが利用停止中、かつ機能部品が2個以上設定されている場合、並び替えが可能。

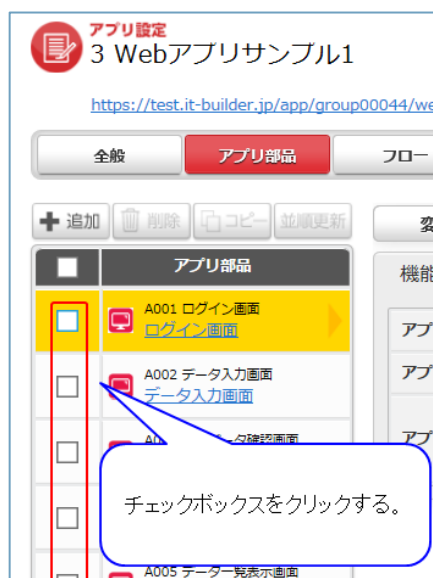
2.13 アプリ部品のコピー

2.13.1 操作方法

- ・アプリ名をクリックする。



- ・コピーするアプリ部品のチェックボックスをクリックする。



- ・[コピー]をクリックする。



- ・各項目を入力（選択）し、[コピー]をクリックする。

アプリ部品コピー

コピー先

必須

☐ 自アプリ
☒ 他アプリ

コピー先アプリ

必須

9 webアプリサンプル3

▼

☒ コピー完了後、コピー先アプリを表示する

コピー

キャンセル

2.13.1.1 項目説明

項目名	変更可否	説明
コピー先	可	コピー先のアプリを設定する。 （「他アプリ」とした場合、コピー先アプリを設定する。）
コピー先アプリ	可	コピーするアプリをプルダウンで選択する。 （web アプリ→web アプリ、バッチアプリ→バッチアプリのみコピー可能。また「ログイン画面」部品は、利用しているユーザマスターが一致する場合のみコピー可能。）
コピー完了後、コピー先アプリを表示する	可	チェックを入れると、コピー完了後、コピー先アプリを表示する。

(補足) アプリ部品のコピーが可能な条件

該当のアプリが利用停止中の場合、コピーが可能。

(補足) コピーの範囲

設定内容は全てコピーされる。また、コピーして作成された機能部品の名称は頭に「コピー～」が付く。

(補足) アプリ部品のコピー機能を利用するにあたっての注意事項

アプリ部品のコピーは、コピー元の HTML を加工せず維持する仕様です。

そのため、ブラウザのタブに表示されるアプリ名はコピー元のアプリ名となります。

<コピー先のアプリ名にする方法>

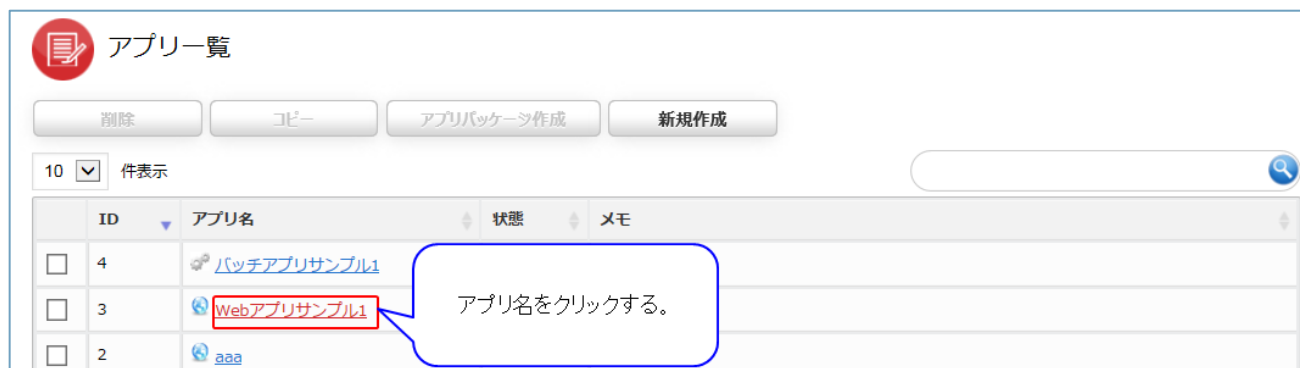
以下のいずれかを実施してください。

- ・ HTML 初期化
- ・ HTML の title を修正
- ・ アプリの全般設定で「アプリ名の変更を HTML に自動反映する」にチェックがある状態で変更ボタンを押下

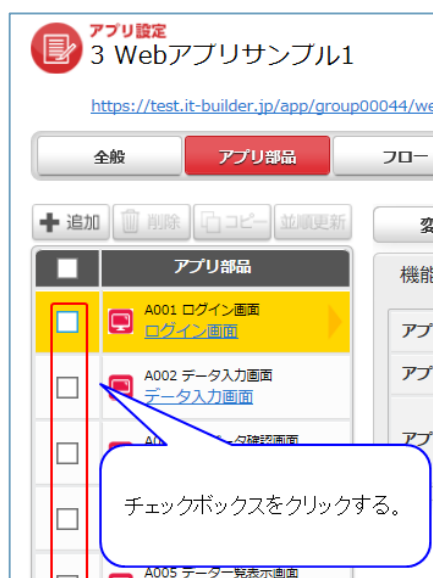
2.14 アプリ部品の削除

2.14.1操作方法

- ・アプリ名をクリックする。



- ・削除するデータのチェックボックスをクリックする。



- ・[削除]をクリックする。



(補足) アプリ部品の削除が可能な条件
該当のアプリが利用停止中の場合、削除が可能。

2.15 影響箇所の確認・一括修正

2.15.1 操作方法

- ・ アプリ名をクリックする。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
4	バッチアプリサンプル1	無効	
3	Webアプリサンプル1	停止	
2	aaa	停止	
1	アプリ		

4 件中 1 から 4 まで表示

前 1 次

- ・ [影響箇所の確認・一括修正]をクリックする

アプリ設定 3 Webアプリサンプル1

稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

利用中のデータベースまたはユーザーマスターが変更されています。
こちらから影響箇所の確認と一括修正をすることができます。

影響確認・一括修正

全般 関連リンク

- ・ 一括反映する項目のチェックボックスをクリックする。

データ項目・ユーザー属性変更反映

1 sampledb(test)

☒	データ項目「D001 数」の項目名が変更されています。
-------------------------------------	-----------------------------

- ・ 未選択の影響箇所がある場合は、次回表示するかを選択する。

未選択の影響箇所があります。これらの影響箇所は次回に表示しますか？

☒ 表示する ☐ 表示しない

- ・ [自動修正する]をクリックする。

The screenshot shows a web application window titled "データ項目・ユーザー属性変更反映" (Data Item/User Attribute Change Reflection). Below the title bar, there is a section labeled "1 sampledb(test)". Inside this section, there is a checkbox and the text "データ項目「D001 数」の項目名が変更されています。" (The item name of the data item "D001 数" has been changed). Below this, there is a question: "未選択の影響箇所があります、これらの影響箇所は次回に表示しますか？" (There are unselected affected areas, will these be displayed next time?). There are two radio buttons: "表示する" (Display) and "表示しない" (Do not display), with "表示しない" being selected. At the bottom, there is a question: "チェックした影響箇所を自動で修正しますか？" (Will you automatically correct the checked affected areas?). There are two buttons: "自動修正する" (Automatic correction) and "キャンセル" (Cancel). A blue speech bubble points to the "自動修正する" button with the text "[自動修正する]をクリックする。" (Click [Automatic correction]).

(補足) 影響箇所の一括修正が可能な条件

該当のアプリが利用停止中の場合、機能が利用可能。

各アプリ部品の項目設定の編集の設定内容、メール配信部品、外部 API 実行部品、関連データについては自動修正されない。

2.16 アプリ部品のフロー設定

2.16.1 フローの変更

2.16.1.1 操作方法

- ・ アプリ名をクリックする。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

	ID	アプリ名	状態	メモ
☐	4	バッチアプリサンプル1	無効	
☐	3	Webアプリサンプル1	停止	
☐	2	aaa	停止	
☐	1	アプリ		

4 件中 1 から 4 まで表示

前 1 次

アプリ名をクリックする。

- ・ [フロー]をクリックする。

アプリ設定 3 Webアプリサンプル1 稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

全体フロー表示 変更

[フロー]をクリックする。

- ・ アプリ部品をクリックする。

アプリ設定 3 Webアプリサンプル1 稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

全体フロー表示 変更

アプリ部品

- Webアプリ起動
- A001 ログイン画面 ログイン画面
- A002 データ入力画面 データ入力画面

A001 ログイン画面 ログイン画面

の変更をHTMLに自動反映する (ボタン:ログイン) 編集

次のアプリ部品 A005 データ一覧表示画面

アプリ部品をクリックする。

- ・各項目を入力（選択）し、[変更]をクリックする。

アプリ設定 3 Webアプリサンプル1 稼働中 ☐ 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

全体フロー表示 **変更** [変更]をクリックする。

アプリ部品

- Webアプリ起動
- A001 ログイン画面
ログイン画面
- A002 データ入力画面
データ入力画面**
- A003 入力データ確認画面
入力データ確認画面
- A004 検索条件入力画面

A002 データ入力画面
データ入力画面

イベント ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する

次へ (ボタン:一時保存)	編集
戻る (ボタン:ボタン)	編集

次のアプリ部品

- A003 入力データ確認画面 × ▾
- A005 データ一覧表示画面 × ▾

ボタン ▾ 次へ 追加

項目名	変更可否	説明
イベント	可	イベントの設定状態の表示と編集をする。 ● イベント名（ボタン／リンク：イベント種別） イベント名と表示形式、イベント種別が表示される。 （イベントについての詳細は「(補足) イベント一覧」を参照） ●  ダイアログを表示する設定になっていることを示すアイコン。 ● [編集]ボタン イベントの設定の編集をする。 （設定の編集についての詳細は「(補足) イベントの編集」参照） （右端の[≡]をドラッグし並び順を変更する。操作方法の詳細は「(補足) 項目の並び順変更」参照）
分岐条件	不可	分岐条件で設定された分岐条件名。アプリ部品「分岐条件」のみ表示。
レスポンスコード	不可	遷移条件として設定されたレスポンスコード。アプリ部品「外部 API 実行」のみ表示。
次のアプリ部品	可	イベント後遷移するアプリ部品をプルダウンで選択する。
	可	追加するイベント及びレスポンスコードをプルダウンで選択して追加する。 イベントの場合、イベント名が入力できる。

(補足) イベント一覧

イベント種別	配置部品	表示形式	説明
ボタン	共通	ボタン	遷移設定画面で指定された次アプリ部品を実行する。
リンク	共通	リンク	遷移設定画面で指定された次アプリ部品を実行する。
ログイン	ログイン画面	ボタン	ログイン認証とユーザープロファイルの取得を行う。 ログイン後にはセッション ID を切り替える。
ログアウト	共通	ボタン	アプリセッションをクリアする。AP サーバーのセッションは保持する。
一時保存	データ入力画面	ボタン	入力データをチェックし、セッションに一時保存する。
データ登録	入力データ確認画面	ボタン	入力データをエータベースに登録する。
検索	検索条件入力画面	ボタン	検索条件をセッションに設定する。
削除	データ詳細表示画面	ボタン	特定しているデータを削除する。
項目リンク	データ一覧表示画面	リンク	一覧項目から 1 明細を選択する。
流用新規	データ詳細表示画面	ボタン	詳細画面の内容を流用して新規に作成する。
画面を閉じる	共通	ボタン	画面を閉じ、システムを終了する。
アップロード	ファイルアップロード画面	ボタン	参照設定したファイルをアップロードする。

(補足) イベントの編集

イベント設定

イベント名	必須	新規登録
イベント種別	必須	ボタン
ダイアログの表示	必須	☒ なし ☐ 確認ダイアログ ☐ アラートダイアログ

項目名	説明
イベント名	イベントの名称。（ユーザー画面のボタン名。）
イベント種別	イベント種別を設定する。
ダイアログの表示	ダイアログの設定をする。 ● なし ダイアログを表示しない。 ● 確認ダイアログ 「OK」と「キャンセル」ボタンの付いたダイアログで、「キャンセル」をクリックすると画面遷移しない。 ● アラートダイアログ 「OK」ボタンの付いたダイアログで、「OK」をクリックすると画面遷移する。

(補足) イベントの削除

- ・削除するイベントの[×]をクリックする。

A009 データ入力画面

イベント

次へ (ボタン:一時保存) 編集

戻る (ボタン:ボタン) 編集

次のアプリ部品

A012 データ入力画面 × ▼

A010 入力データ設定 × ▼

- ・イベントが削除される。

A009 データ入力画面

データ入力画面

イベント ☒ 並び順の変更をHTMLに自動反映する

次へ (ボタン:一時保存) 編集

ボタン ▼ 戻る 追加

次のアプリ部品

A012 データ入力画面 × ▼

- ・[変更]をクリックする。

(「2.16.1.1 操作方法」参照)

2.16.2全体フロー表示

2.16.2.1 操作方法

- ・ アプリ名をクリックする。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
4	バッチアプリサンプル1	無効	
3	Webアプリサンプル1	停止	
2	aaa	停止	
1	アプリ		

4件中 1 から 4 まで表示

前 1 次

- ・ [フロー]をクリックする。

アプリ設定 3 Webアプリサンプル1

稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

全般 アプリ部品 フロー

全体フロー表示 変更

- ・ [全体フロー表示]をクリックする。

アプリ設定 3 Webアプリサンプル1

稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

! アプリを公開しました。

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

全体フロー表示 変更

アプリ部品

Webアプリ起動

A001 ログイン画面

ログイン画面

次のアプリ部品

A006 データ詳細表示画面

- ・全体フローを表示する。

アプリ全体フロー

アプリ部品	イベント・分岐条件	次のアプリ部品
Webアプリ起動		＞ A028 条件分岐
A025 データ一覧表示画面 データ一覧表示画面	項目リンク リンク:(項目リンク)	＞ A026 データ詳細表示画面
A026 データ詳細表示画面 データ詳細表示画面	戻る ボタン:(ボタン) 	＞ A025 データ一覧表示画面
A027 メッセージ表示画面 メッセージ表示画面		
A028 条件分岐 条件分岐	権限のあるユーザー	＞ A025 データ一覧表示画面
	上記以外の場合	＞ A027 メッセージ表示画面

2.16.2.2 項目説明

項目名	説明
アプリ部品名	アプリ部品の名称。（Web／バッチアプリ起動は必須。）
イベント・分岐条件	イベント名または分岐条件名。
次のアプリ部品	イベントまたは分岐条件によって遷移する次のアプリ部品名。

2.17 デザイン

2.17.1操作方法

- ・アプリ名をクリックする。

アプリ一覧

削除 コピー アプリパッケージ作成 新規作成

10 件表示

ID	アプリ名	状態	メモ
4	バッチアプリサンプル1	無効	
3	Webアプリサンプル1	停止	
2	aaa	停止	
1	アプリ		

4 件中 1 から 4 まで表示

前 1 次

- ・[デザイン]をクリックする。

アプリ設定 3 Webアプリサンプル1

稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

+ 追加 削除 コピー 並順更新 変更

アプリ部品 機能設定

- ・アプリ部品をクリックする。

アプリ設定 3 Webアプリサンプル1

稼働中 停止

<https://test.it-builder.jp/app/group00044/webappsample1>

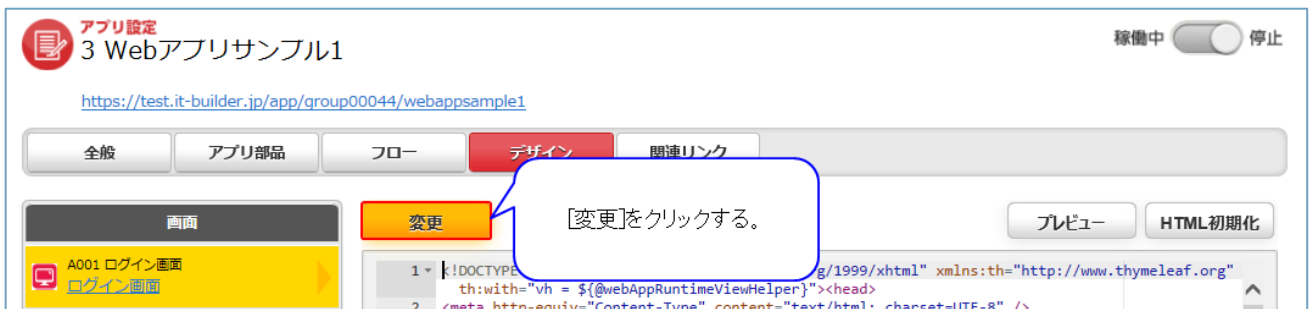
全般 アプリ部品 フロー デザイン 関連リンク

画面 変更 プレビュー HTML初期化

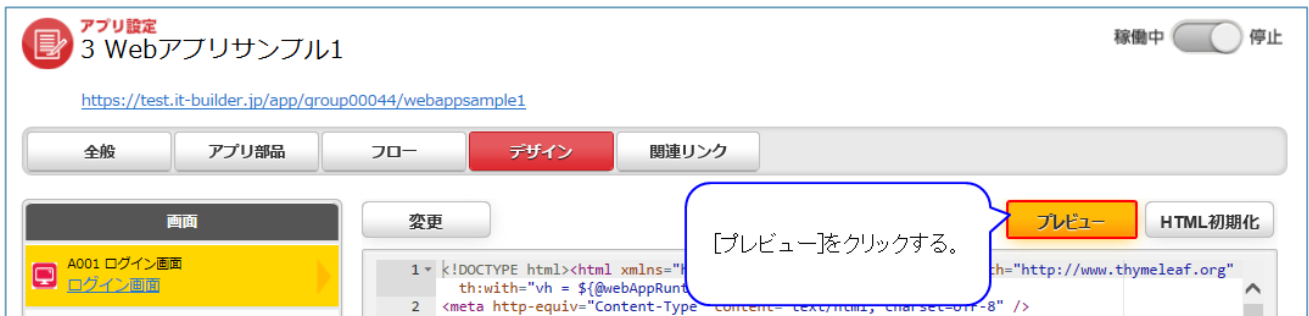
- A001 ログイン画面
- A002 データ入力画面
- A003 入力データ確認画面
- A004 検索条件入力画面

```
1 <!DOCTYPE html><html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xmlns:th="http://www.thymeleaf.org"
2 <th:with="vh = ${@webAppRuntimeViewHelper}"><head>
3 <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
4 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0" />
5 <meta charset="UTF-8" />
6 <meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=edge,chrome=1" />
7 <meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css" />
8 <meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />
9 <link rel="stylesheet" type="text/css" href="/app_web_design/default_pc/css" />
```

- ・ XHTML で内容を編集し、[変更]をクリックする。



- ・ [プレビュー]をクリックし、画面を確認する。



- ・ 内容を初期状態に戻す場合は、[HTML 初期化]をクリックする。



(補足) システムコンテンツの編集

設定したアプリ部品に応じて、設定されるシステムコンテンツが表示され、画面を編集することができます。編集できるコンテンツには以下のものがあります。

- ① 利用停止中画面
- ② アプリ実行エラー画面

(補足) 入力必須項目の初期 HTML 表示

データベース上で入力項目に必須設定がしてある項目は画面上に必須とわかるように表示されます。

初期設定は「※」ですが、デザイン画面で任意の内容に変更可能です。

サンプル - Internet Explorer

https://dev.it-builder.jp/app_manager/eisui/app/popup/preview

データ入力画面

エラーメッセージ表示エリア

部署名※	
数値※	
テキスト (1行) ※	

変更 プレビュー HTML初期化

```
/4 <input type="hidden" th:value="#{zipCodeSearch.close}" th:id="zipCodeSearchClose" />
75 <input type="hidden" th:value="{vh.getItemValue('data_id')}" th:id="data_id" />
76 <span th:id="requiredDispMark" style="display:none">※</span>
77 <span id="property" style="display:none" th:utext="{vn.getSnippetSetting()}"></span>
78
79 <div id="header">
80 <h1 th:id="header_nm" id="header_nm">データ入力画面</h1>
```

上記赤枠内が必須設定を行っている HTML デザイン上の箇所です。

※を任意の文字に変更し[変更]ボタンをクリックします。

2.18 関連リンク

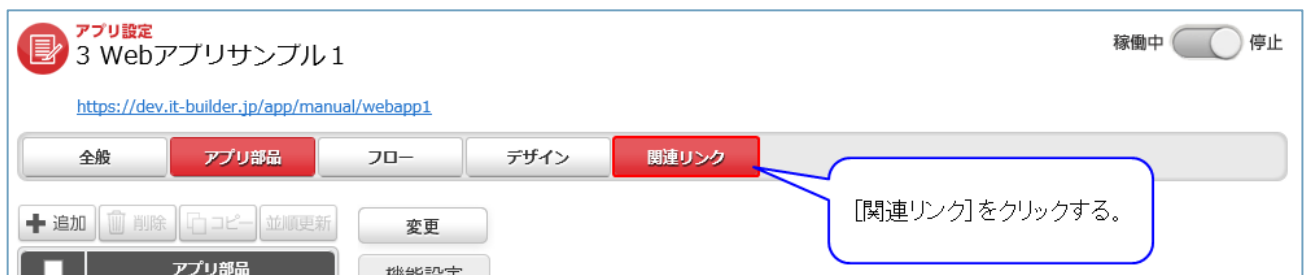
当該アプリに関連する情報をリンクで表示する。

2.18.1 操作方法

- ・ アプリ名をクリックする。



- ・ [関連リンク]をクリックする。



- ・ 関連リンクが一覧で表示される。



※リンクをクリックすると該当のページに遷移する。

(補足) データベース変更設定


アプリ設定
3 Webアプリサンプル 1

稼働中  停止

<https://dev.it-builder.jp/app/manual/webapp1>

 データベースの変更が完了しました。

全般

アプリ部品

フロー

デザイン

関連リンク

以下のデータベースもしくはユーザーマスターを利用しています。

ユーザーマスター	5 テスト
データベース	1 sampledб(test) 

アイコンをクリックする。

データベース変更設定

変更前データベース	1 sampledб(test)
変更後データベース	2 sampledб(test)2 

アプリ部品で利用されている以下のデータ項目を、変更後のデータ項目に置き換えてください。

変更前データベース (1 sampledб(test))	変更後データベース (2 sampledб(test)2)
D005 メールアドレス	D008 メールアドレス 

「変更」をクリックする。

変更

キャンセル

※データベース変更設定の項目説明

項目名	説明
基本設定	
変更前データベース	アプリ部品で利用されている、変更前のデータベース。
変更後データベース	アプリ部品で利用されている、変更後のデータベース。
変更前データベース(データベース名)	アプリ部品で利用されている、変更前のデータベースのデータ項目。
変更後データベース(データベース名)	アプリ部品で利用されているデータ項目を変更後のデータベースのどの項目に書き換えるかを設定する。